

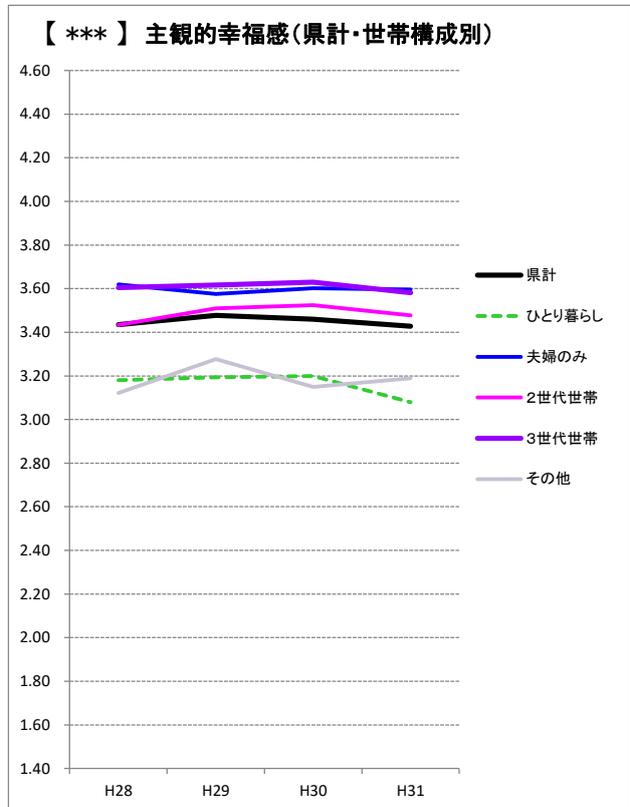
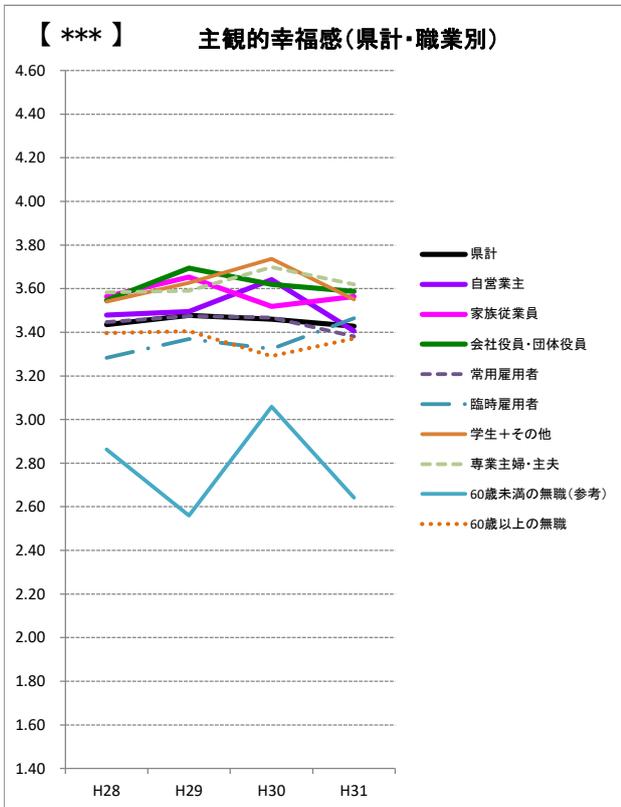
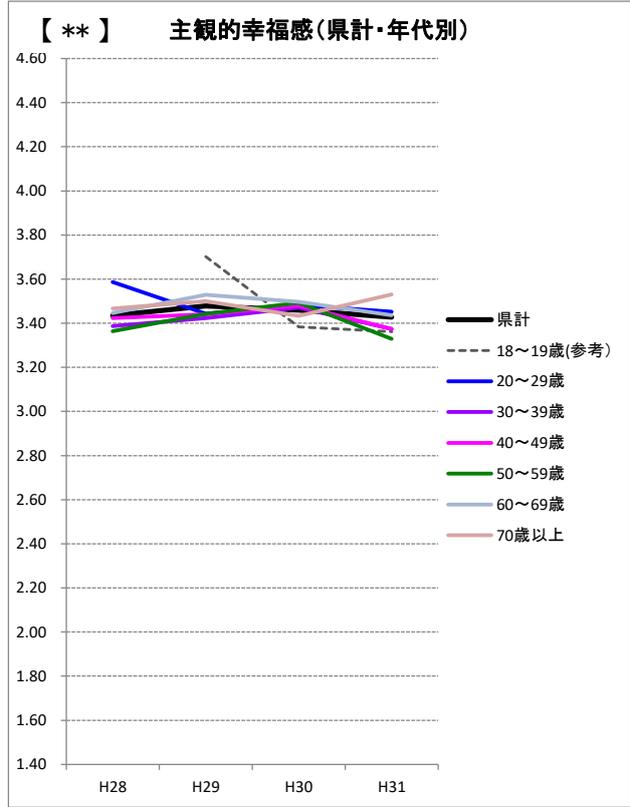
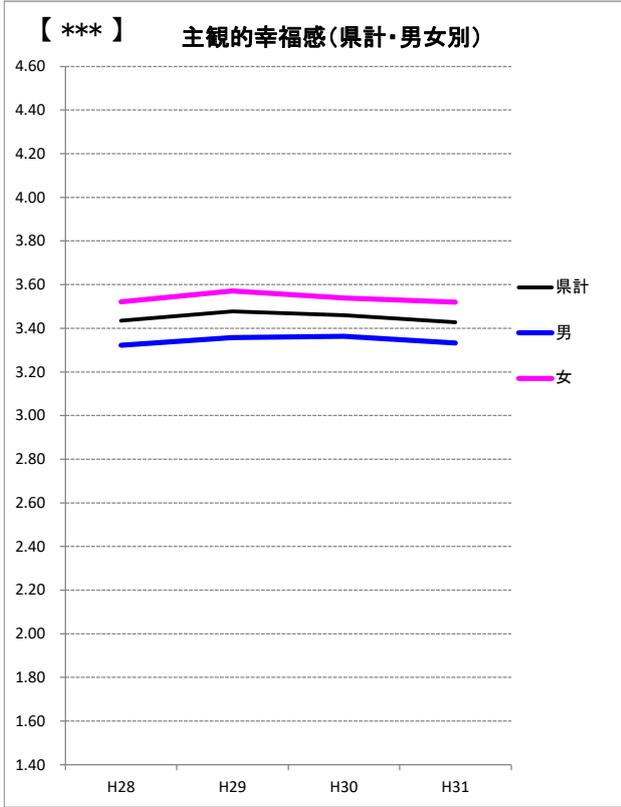
県民意識調査 属性別・時系列分析結果

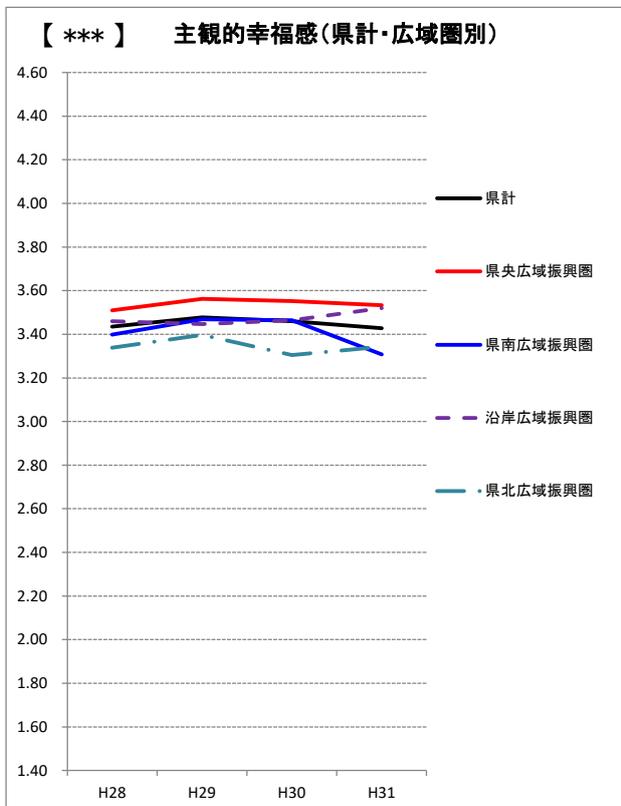
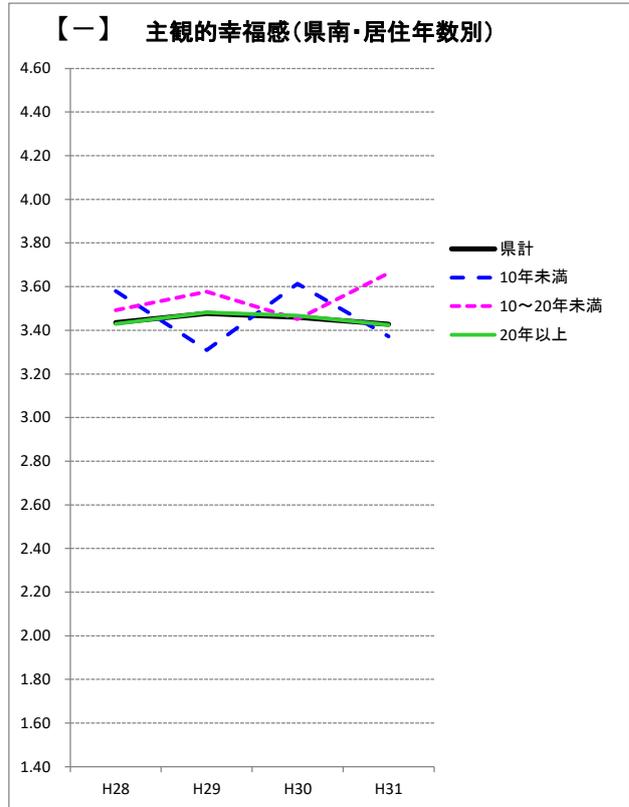
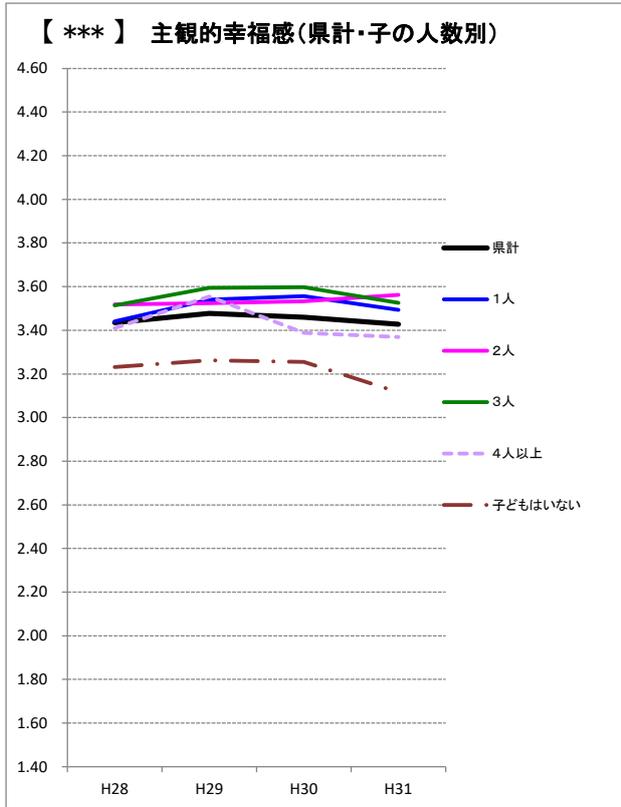
【県計】【主観的幸福感】あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

・H31調査結果において、属性別に見ると、男女別、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別、広域圏別で有意な差が認められた。

男女別では、女性が高く男性が低かった。年代別では、70歳以上が高く、50歳代が低かった。職業別では、専業主婦(主夫)が高く、無職が低かった。世帯構成別では、夫婦のみ世帯が高く、ひとり暮らしが低かった。子の人数別では、子2人が高く、子0人が低かった。広域圏別では、県央、沿岸が高く、県南が低かった。

・長期的には、H28～H31にかけて横ばいである。





「主観的幸福感(平均)について」

幸福感平均の算出方法
「幸福だと感じている」を5点、「やや幸福だと感じている」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり幸福だと感じていない」を2点、「幸福だと感じていない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

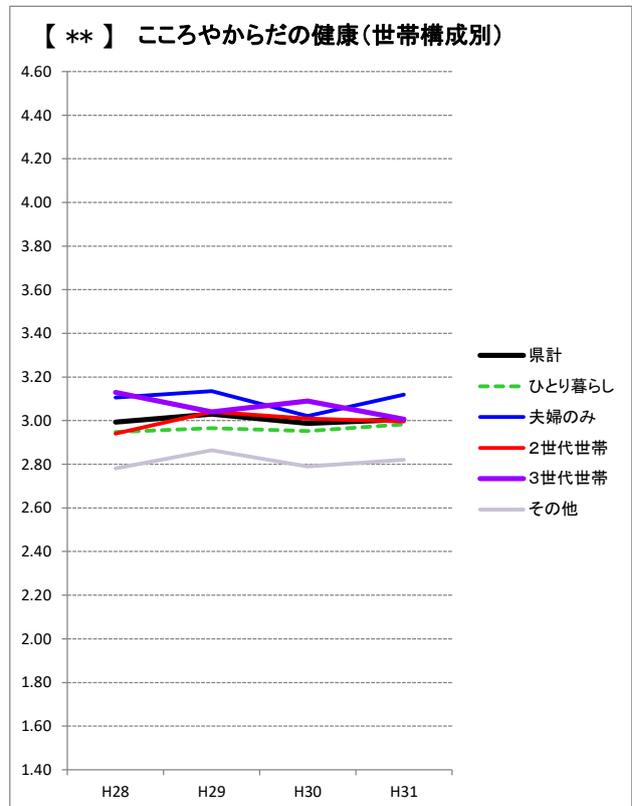
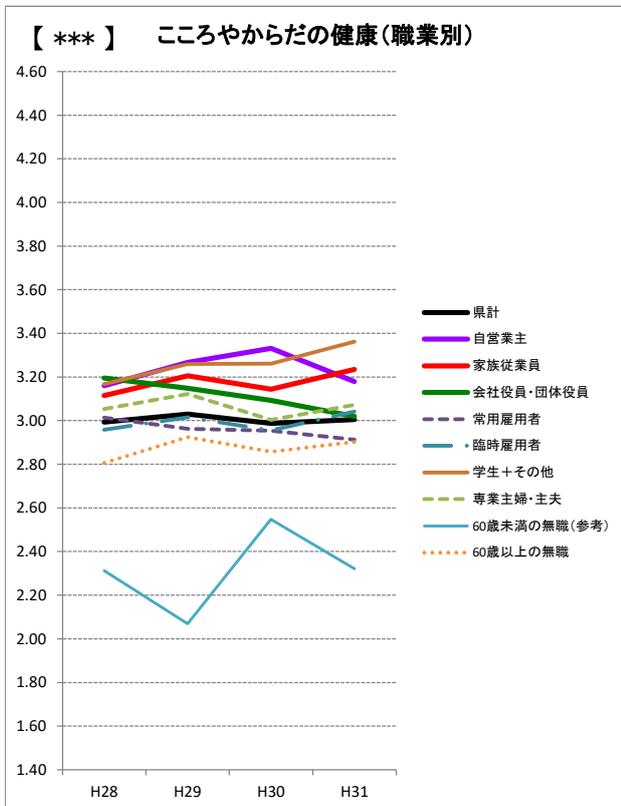
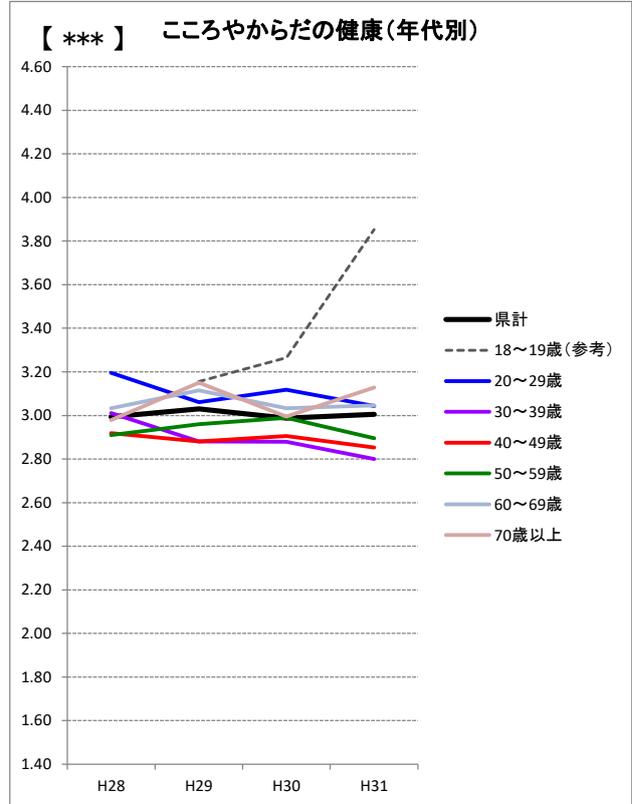
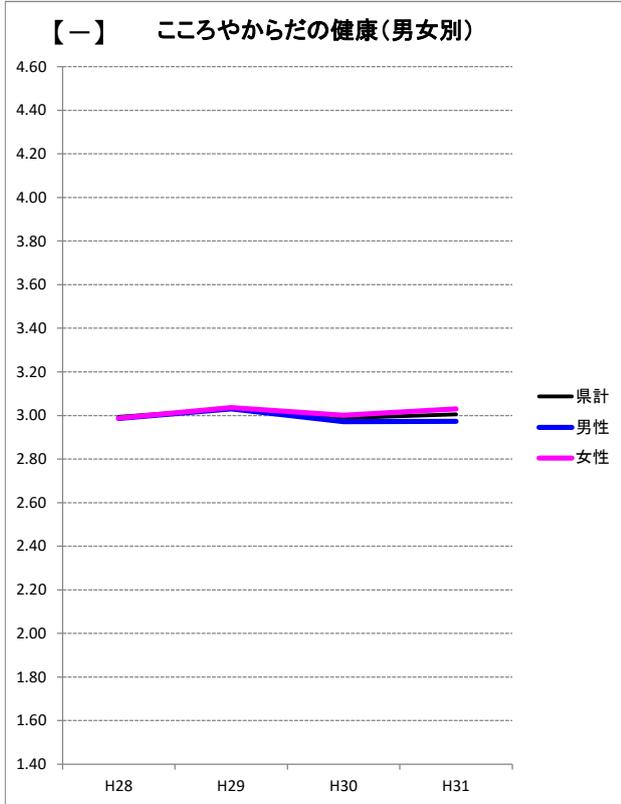
■凡例■
グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
【-】差が認められない

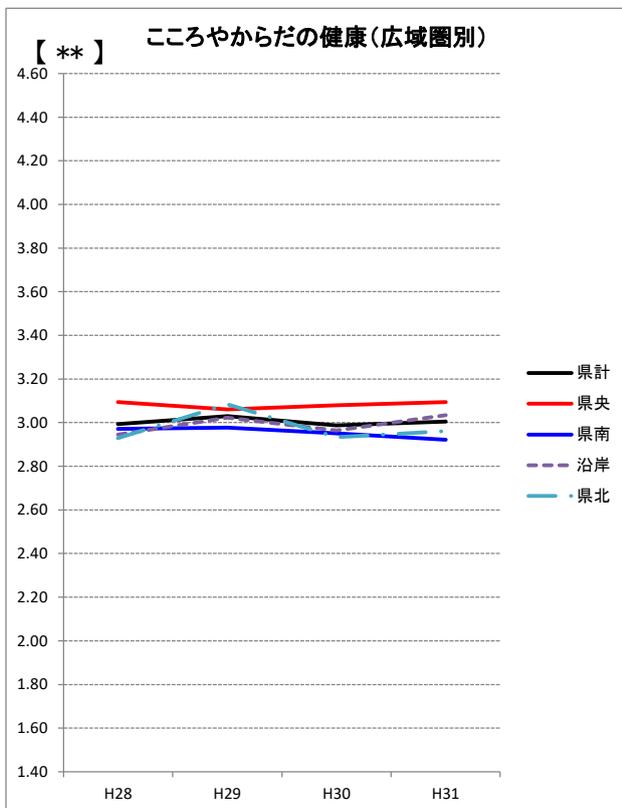
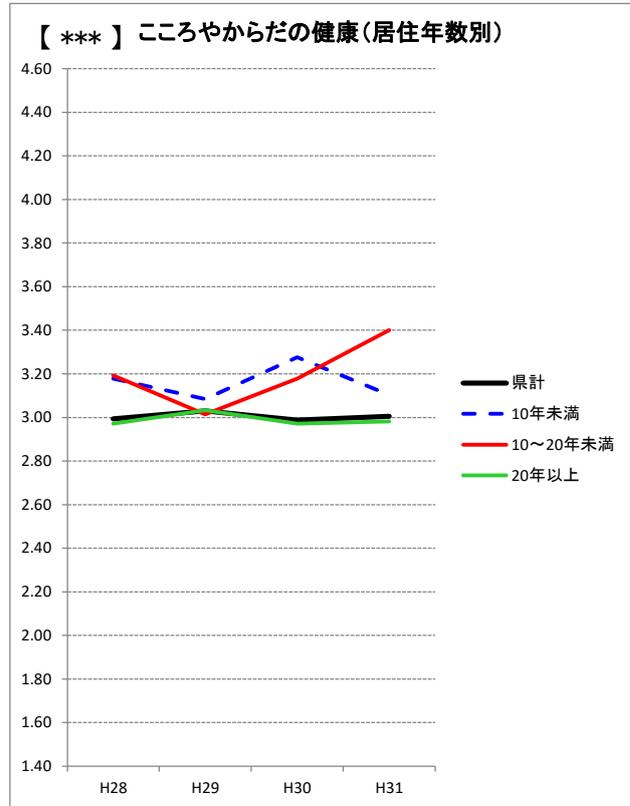
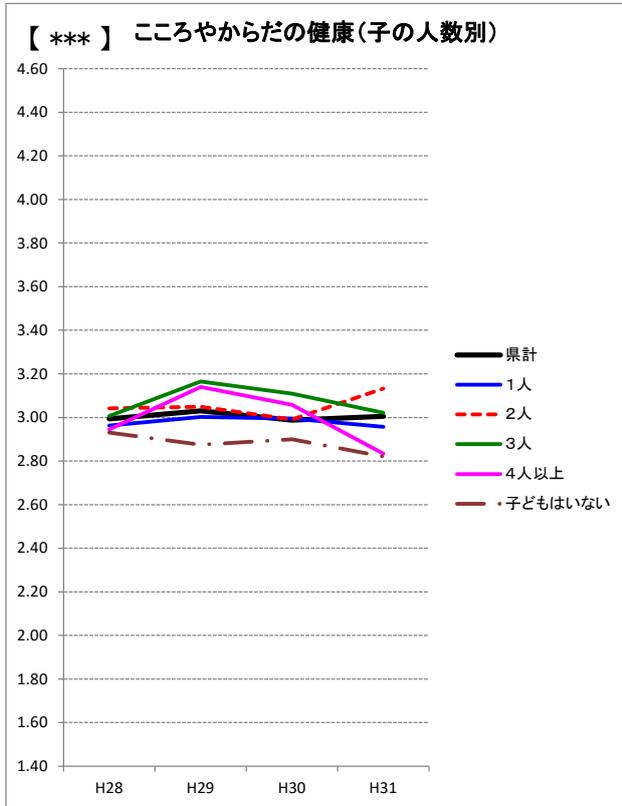
【県計】【分野別実感】①こころやからだ健康だと感じますか。

・H31調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別、居住年数別、広域圏別で有意な差が認められた。

年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、学生等が高く、無職が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子2人が高く、子0人が低かった。居住年数別では、10～20年未満が高く、20年以上が低かった。広域圏別では、県央が高く、県南が低かった。

・長期的には、H28～H31にかけて横ばいである。





「分野別実感の属性別の実感平均について」

実感平均の算出方法

「感じる」を5点、「やや感じる」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

■凡例■

グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

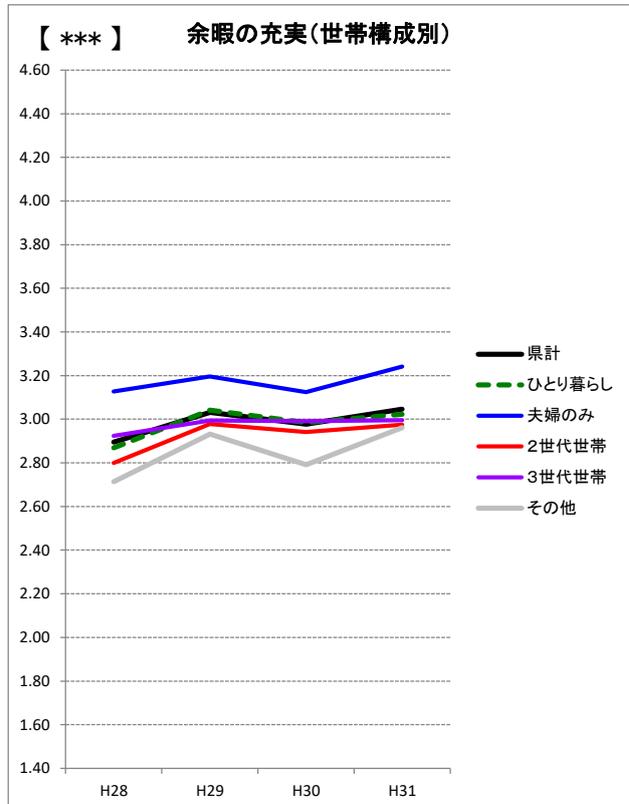
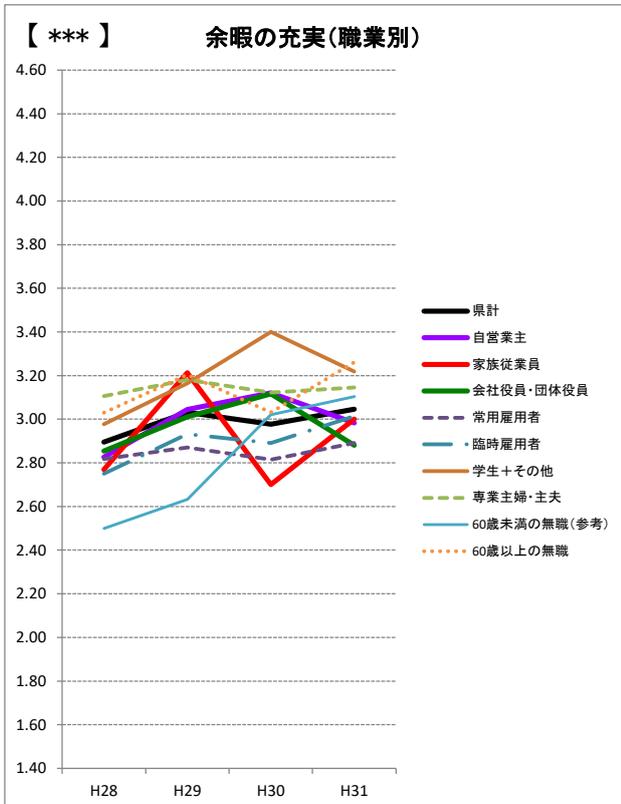
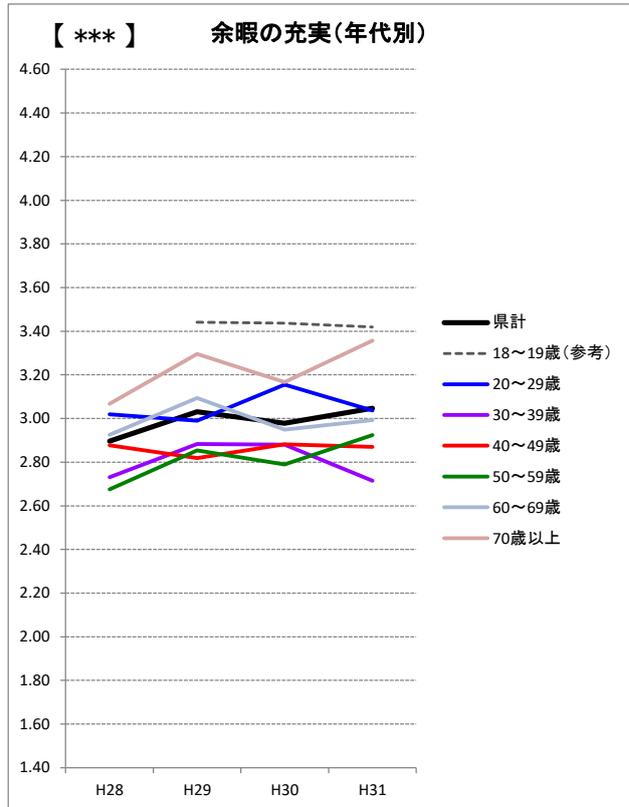
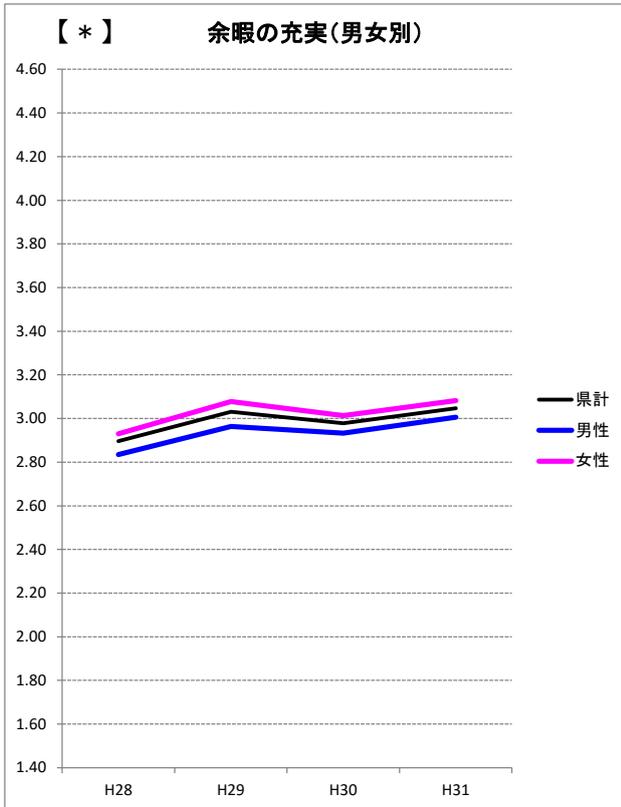
【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

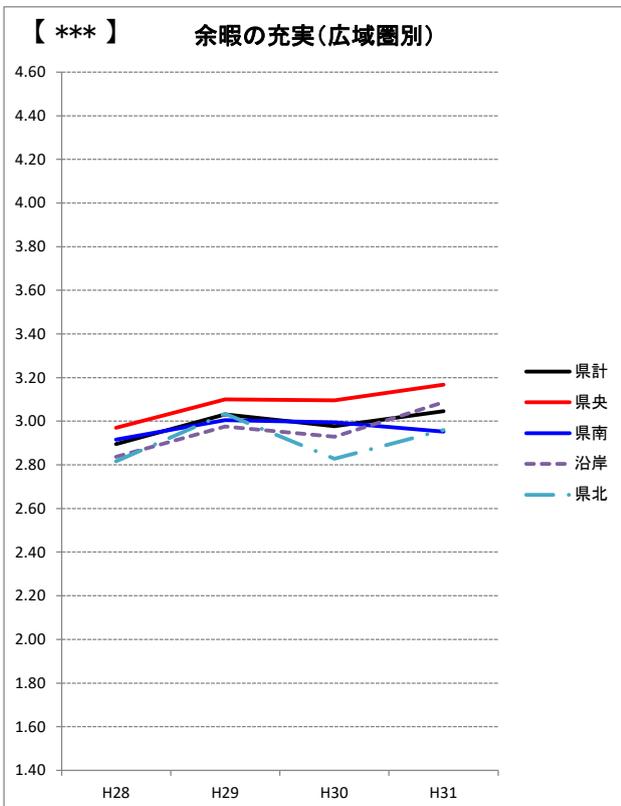
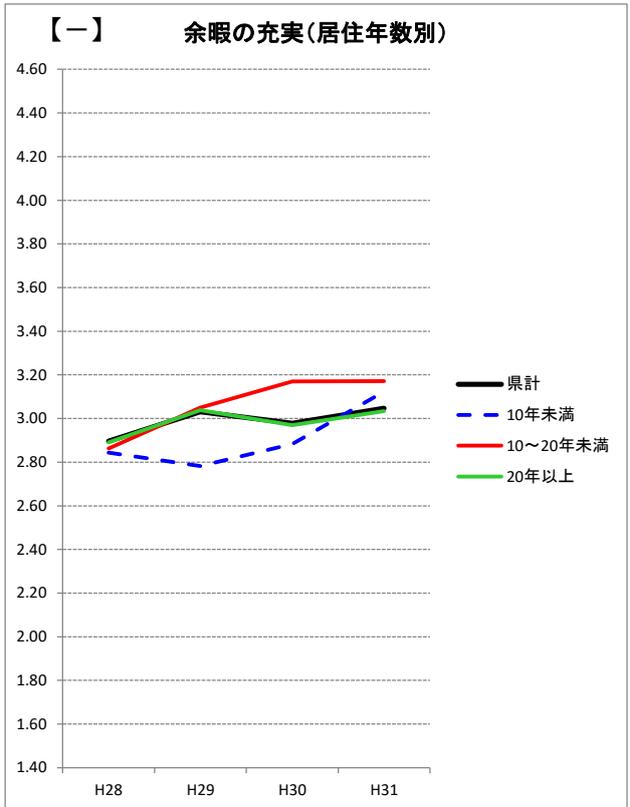
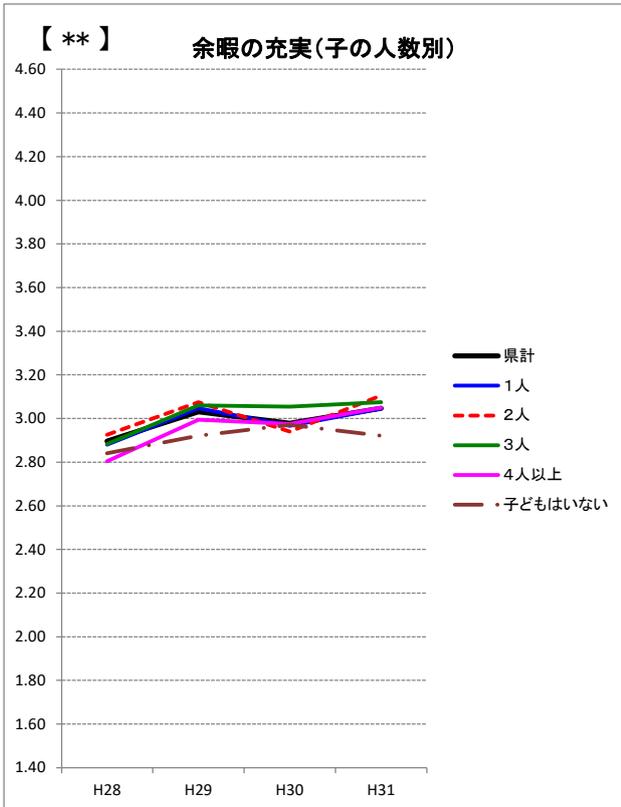
【*】10%水準で差が有意(差が認められない)

[-] 差が認められない

【県計】【分野別実感】②余暇が充実していると感じますか

・H31調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別、広域圏別で有意な差が認められた。
 年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、無職が高く、役員が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子2人が高く、子0人が低かった。広域圏別では、県央が高く、県南が低かった。
 ・長期的には、H28～H31にかけて上昇している。

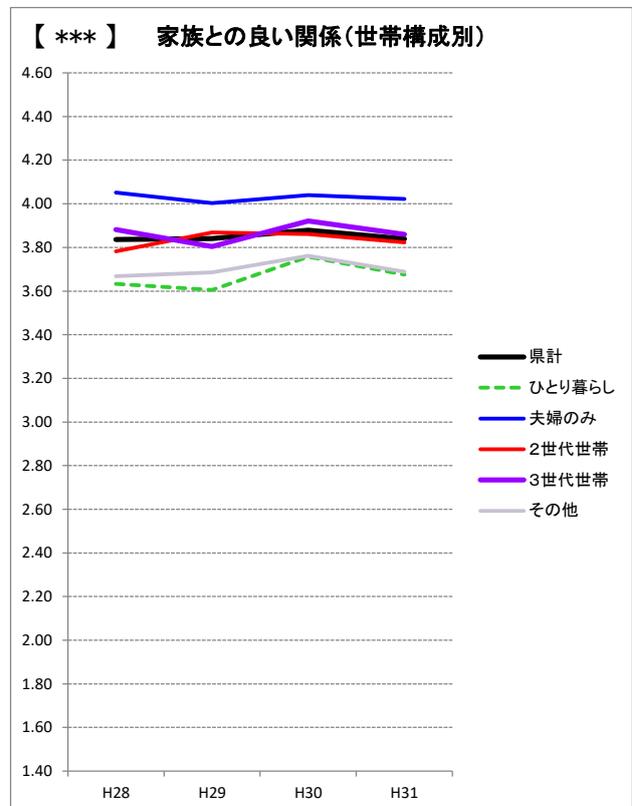
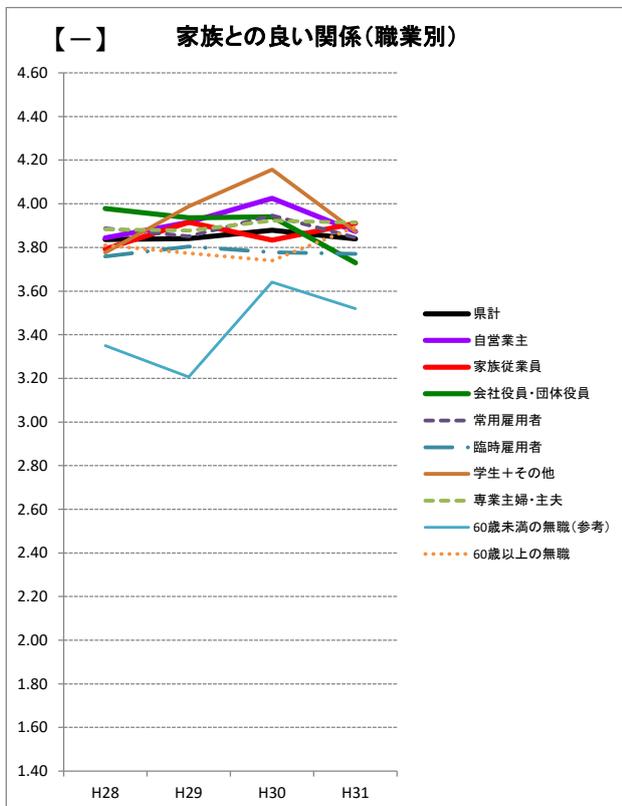
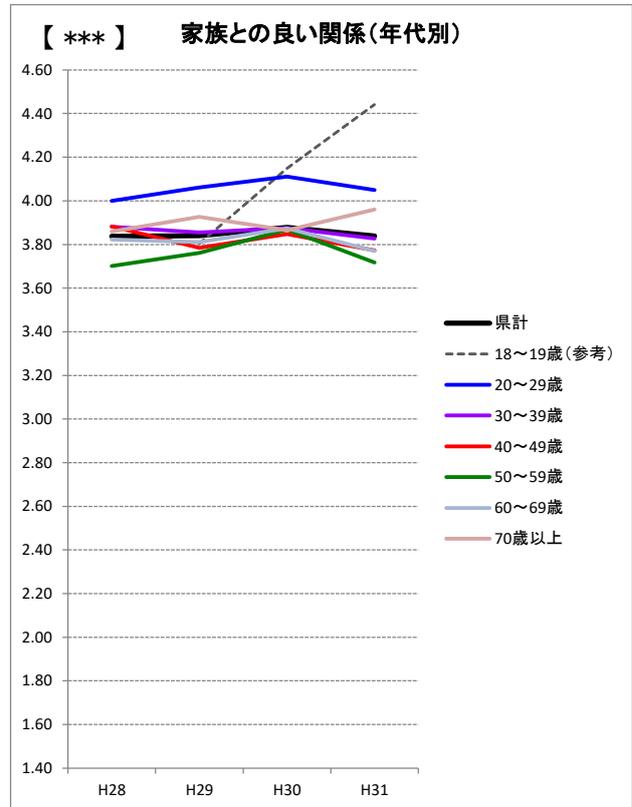
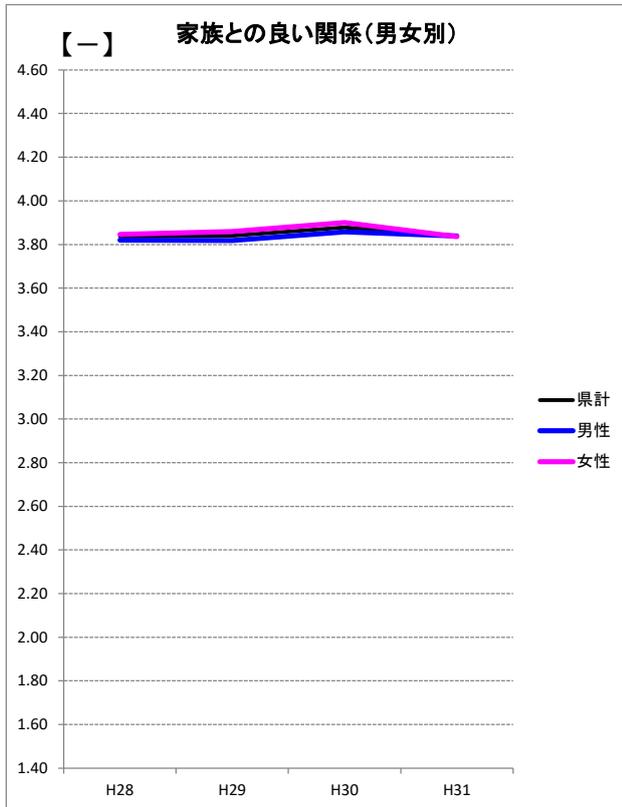


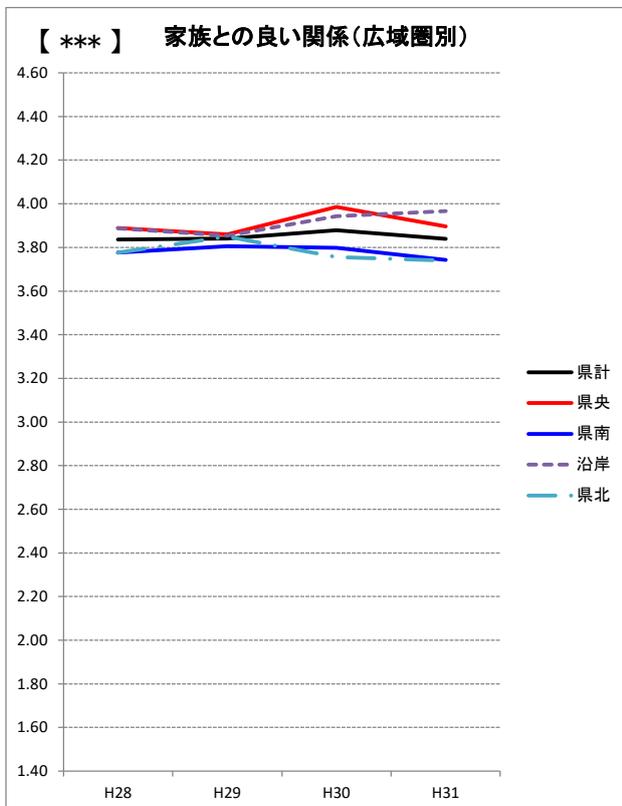
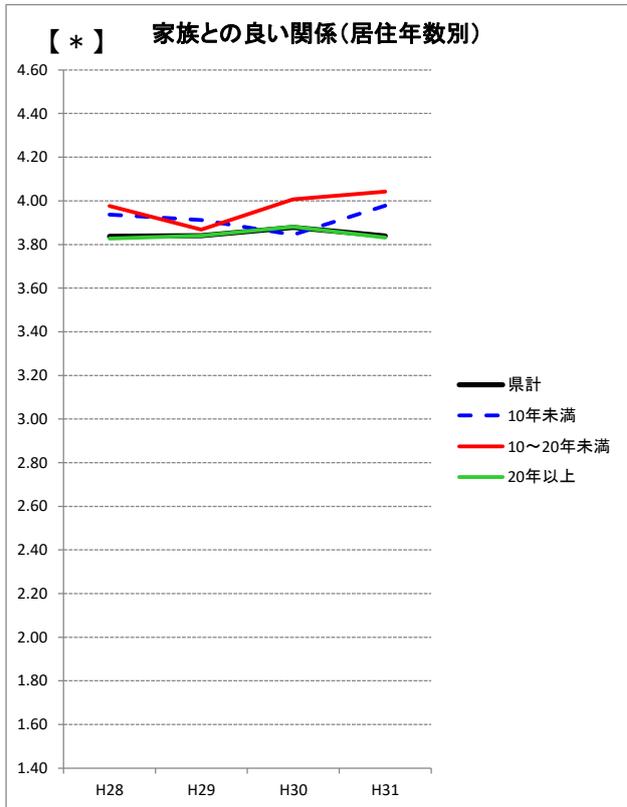
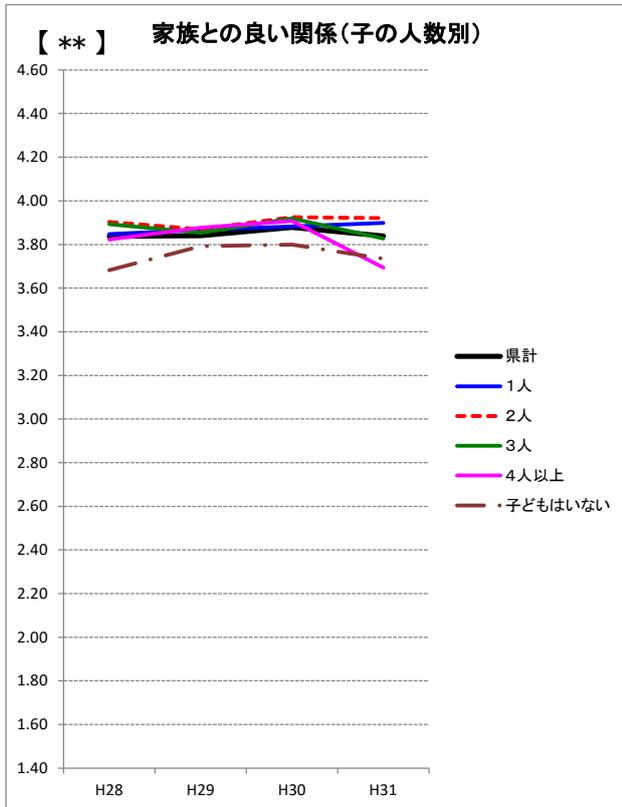


■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】 差が認められない

【県計】【分野別実感】③家族と良い関係がとれていると感じますか。

・H31調査結果において、属性別に見ると、年代別、世帯構成別、子の人数別、広域圏別で有意な差が認められた。
 年代別では、20歳代が高く、50歳代が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、ひとり暮らしが低かった。子の人数別では、子2人が高く、子4人以上が低かった。広域圏別では、沿岸が高く、県南、県北が低かった。
 ・長期的には、H28～H31にかけて横ばいである。

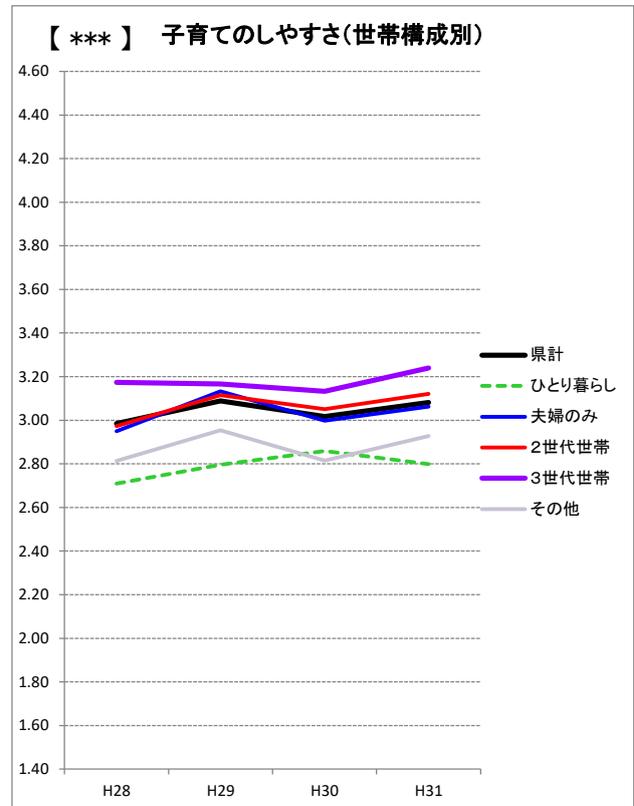
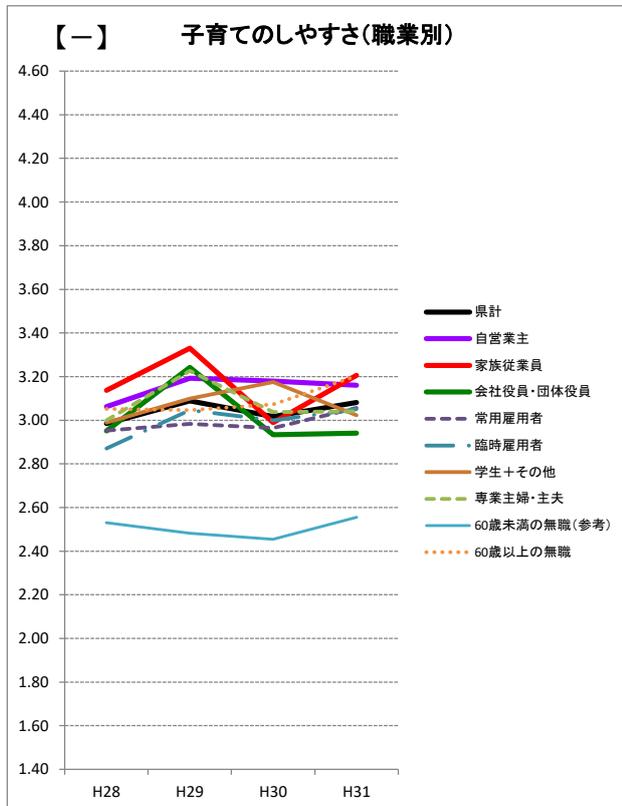
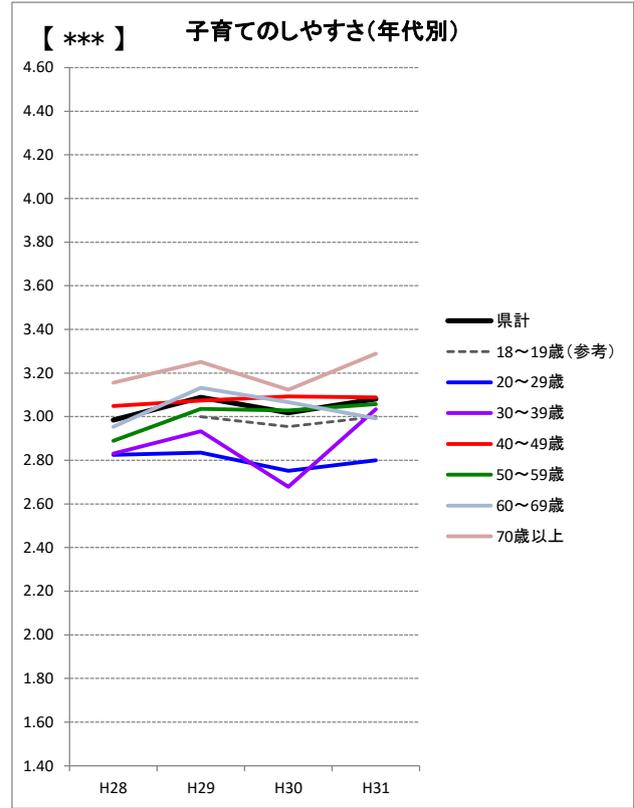
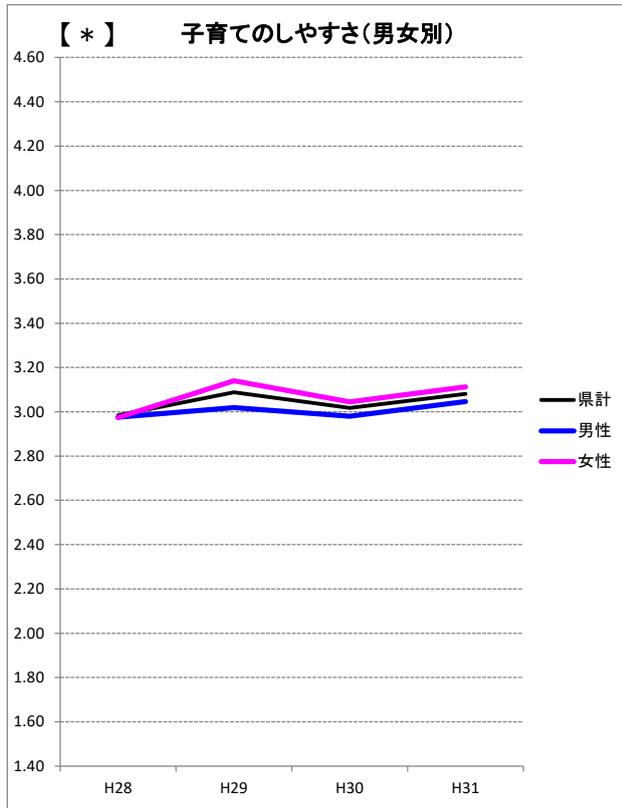


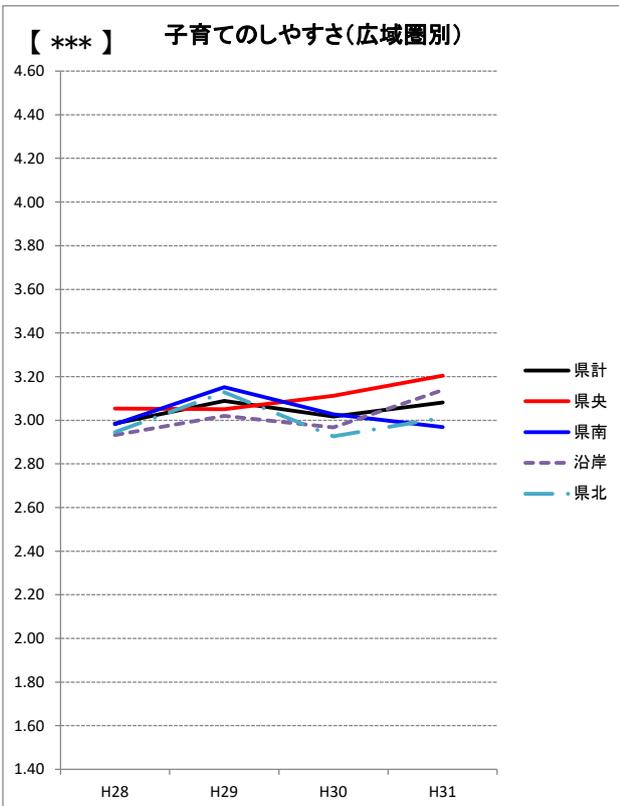
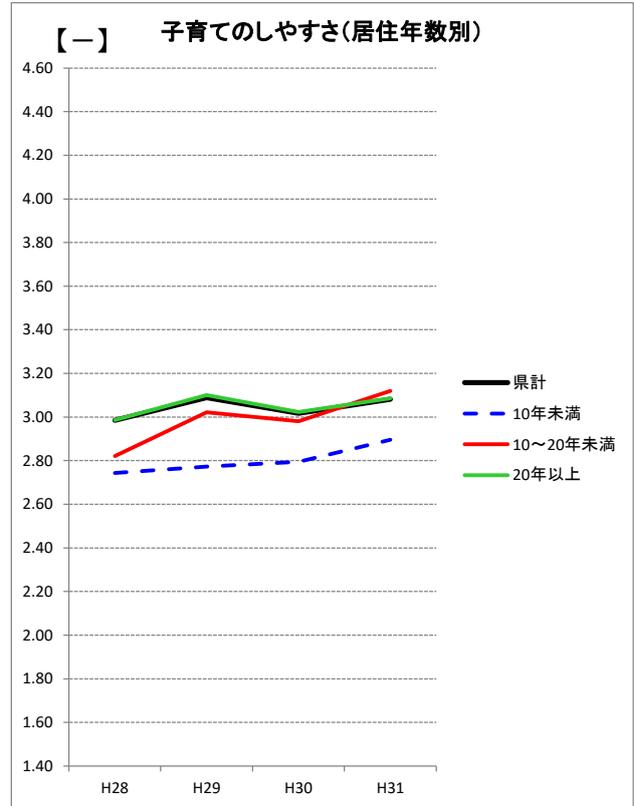
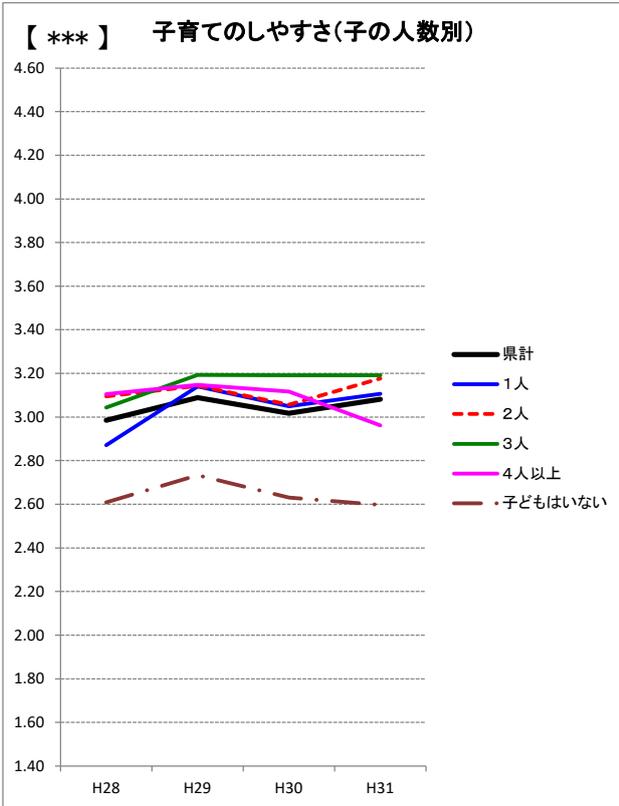


■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
 [-] 差が認められない

【県計】【分野別実感】④子育てがしやすいと感じますか。

・H31調査結果において、属性別に見ると、年代別、世帯構成別、子の人数別、広域圏別で有意な差が認められた。
 年代別では、70歳以上が高く、20歳代が低かった。世帯構成別では、3世代世帯が高く、ひとり暮らしが低かった。子の人数別では、子3人が高く、子0人が低かった。広域圏別では、県央が高く、県南が低かった。
 ・長期的には、H28～H31にかけて上昇している。

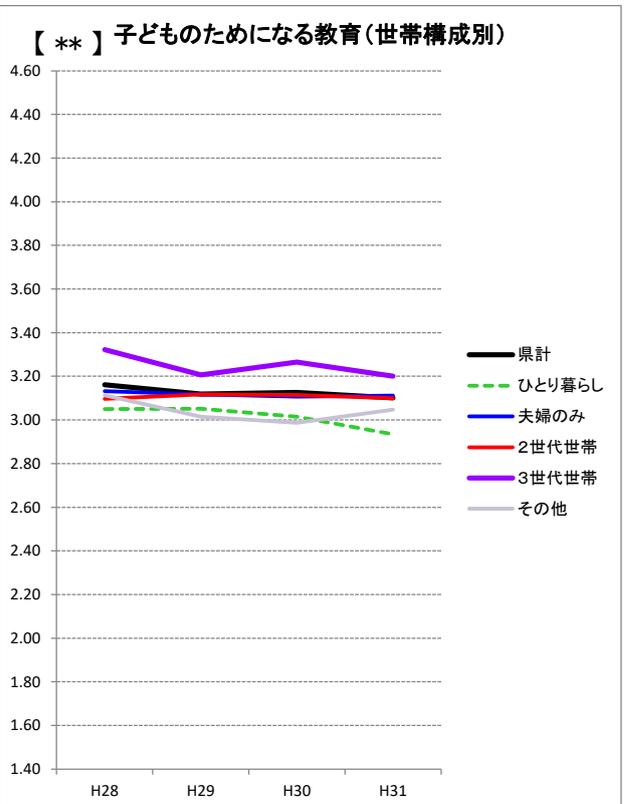
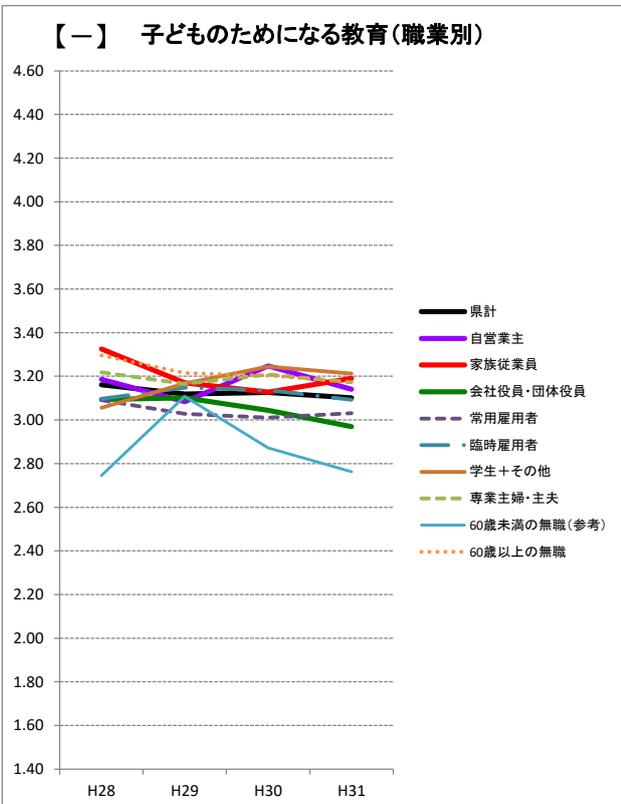
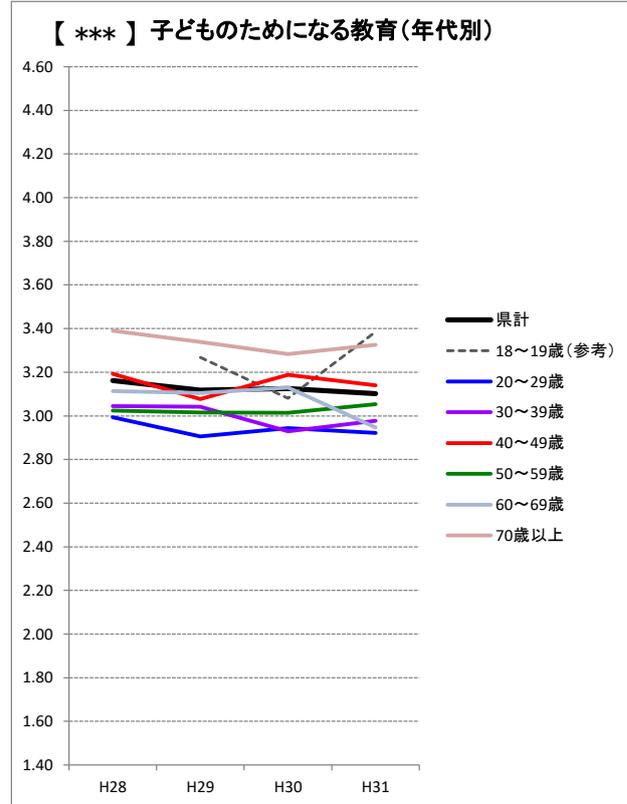
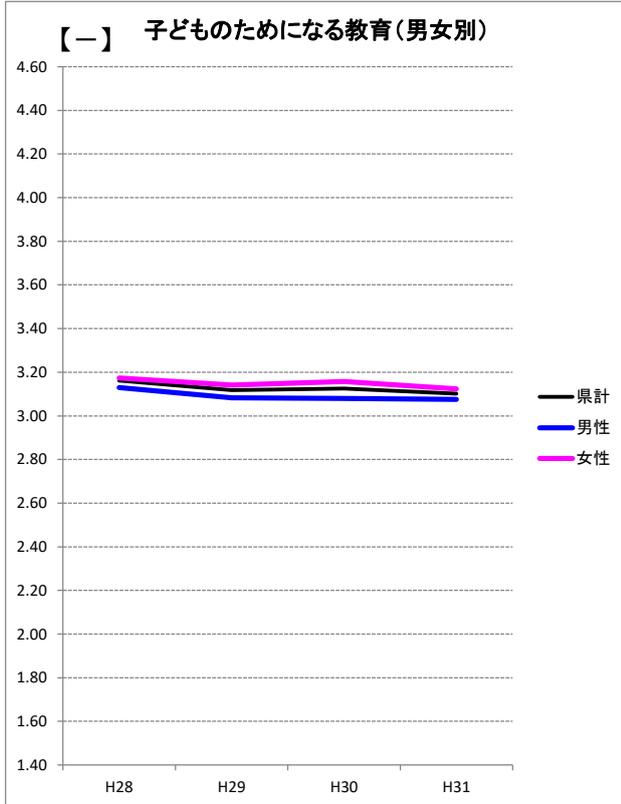




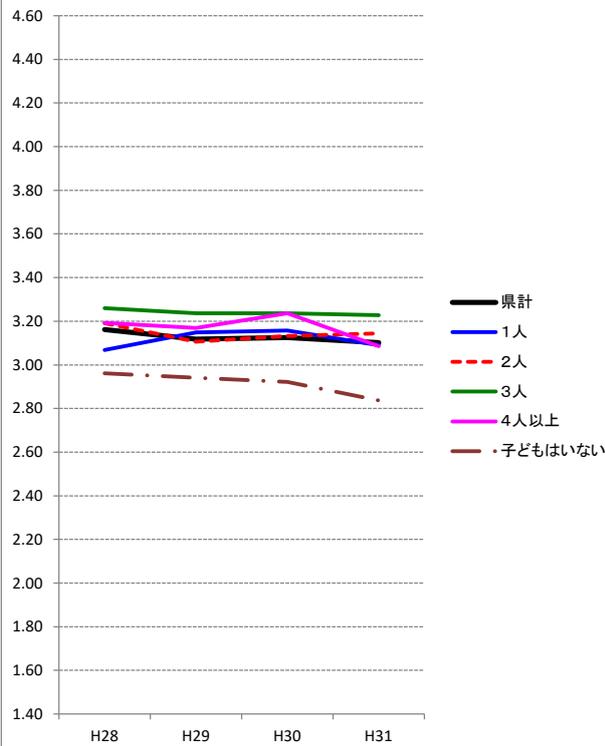
■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】 差が認められない

【県計】【分野別実感】⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか。

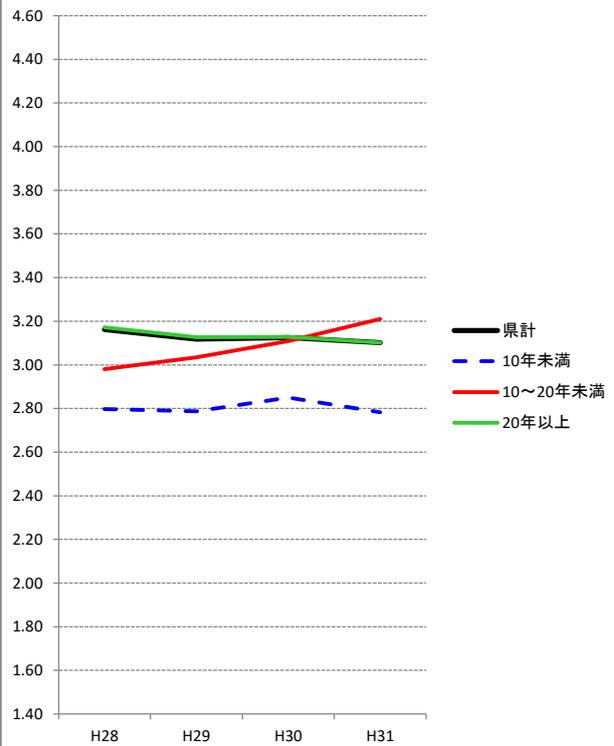
・H31調査結果において、属性別に見ると、年代別、世帯構成別、子の人数別、居住年数別で有意な差が認められた。
 年代別では、70歳以上が高く、20歳代が低かった。世帯構成別では、3世代世帯が高く、ひとり暮らしが低かった。子の人数別では、子3人が高く、子0人が低かった。居住年数別では、10～20年未満が高く、10年未満が低かった。
 ・長期的には、H28～H31にかけて下降しており、短期的(H30からH31)には横ばいである。



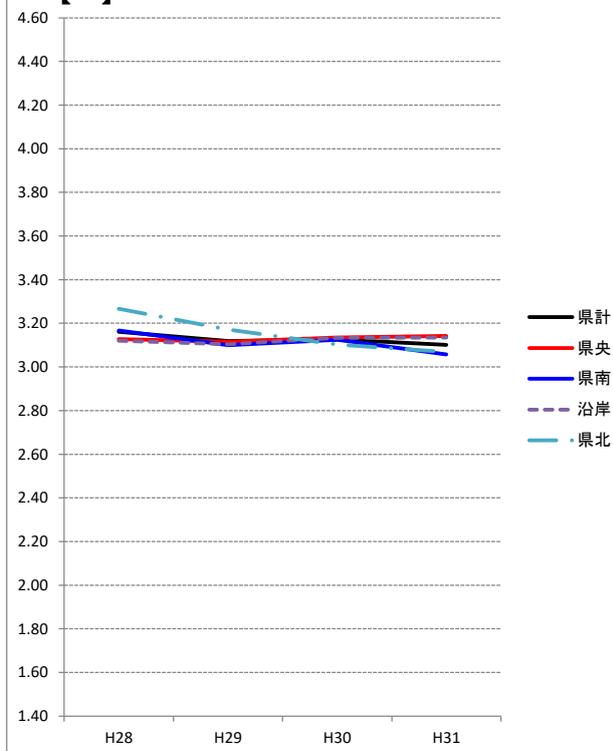
【***】子どものためになる教育(子の人数別)



【**】子どものためになる教育(居住年数別)



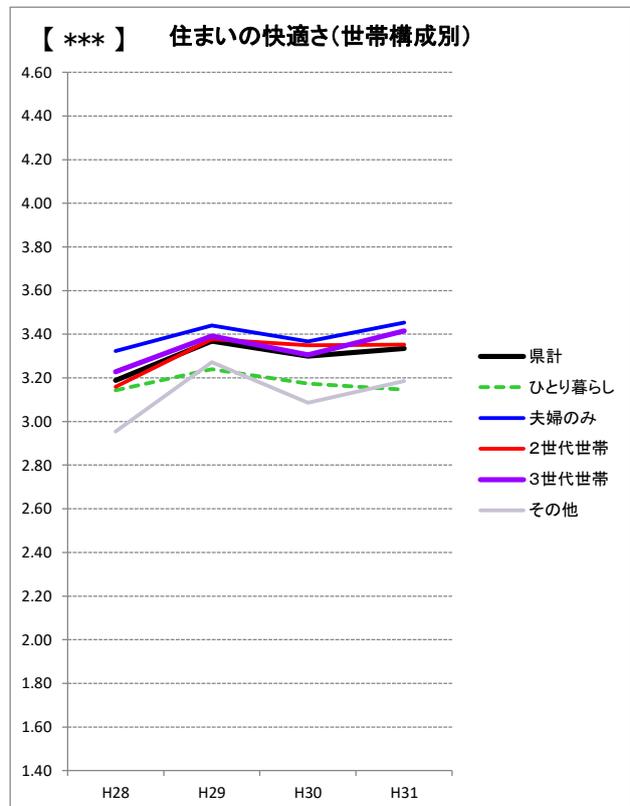
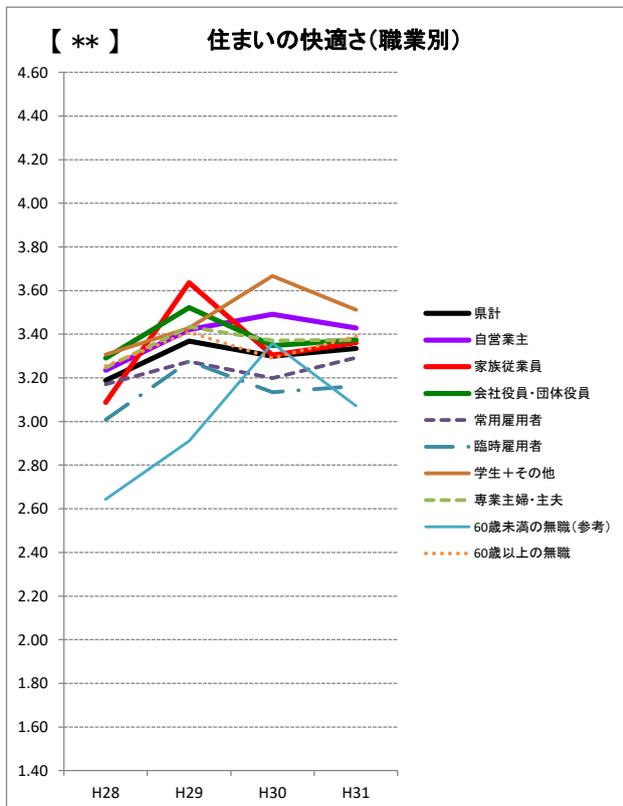
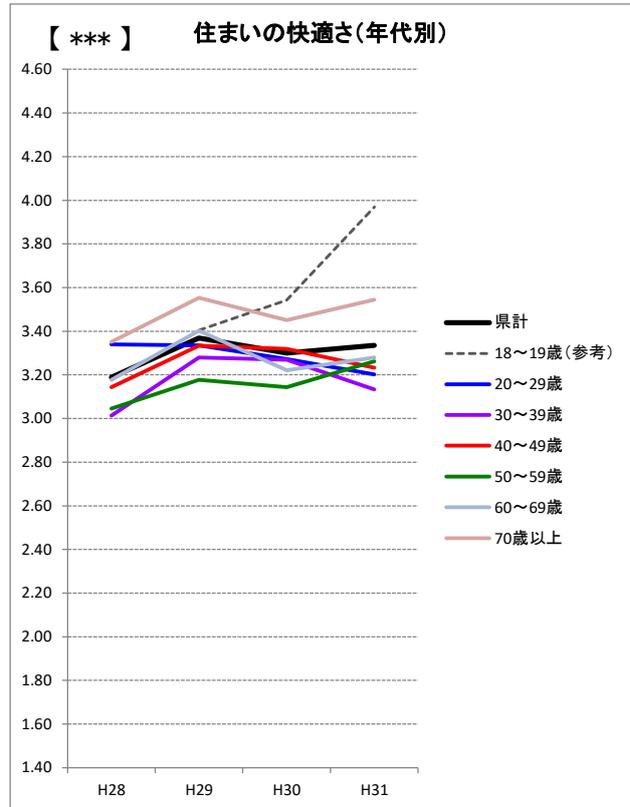
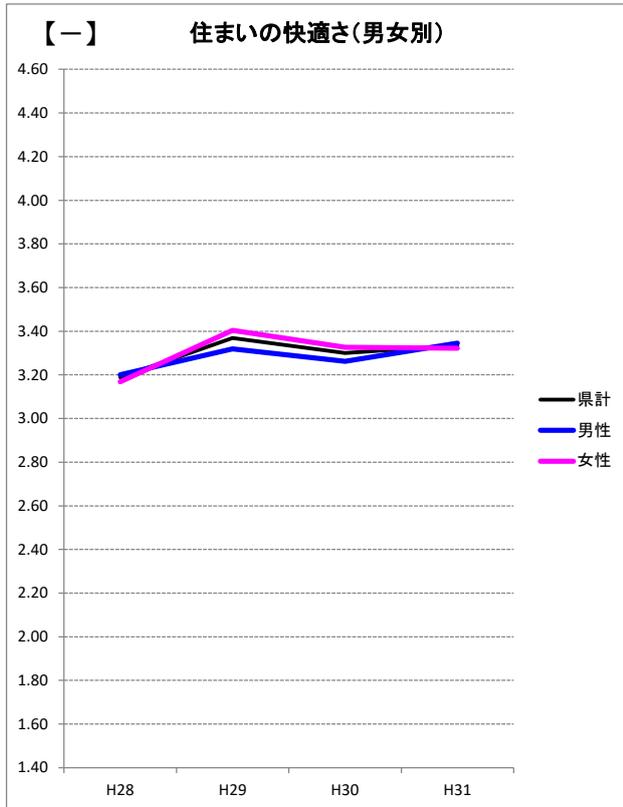
【-】子どものためになる教育(広域圏別)

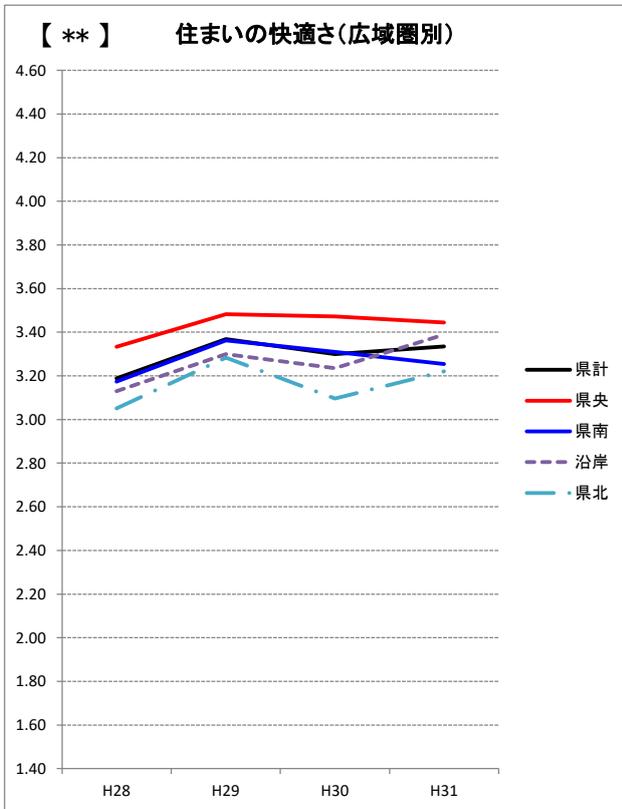
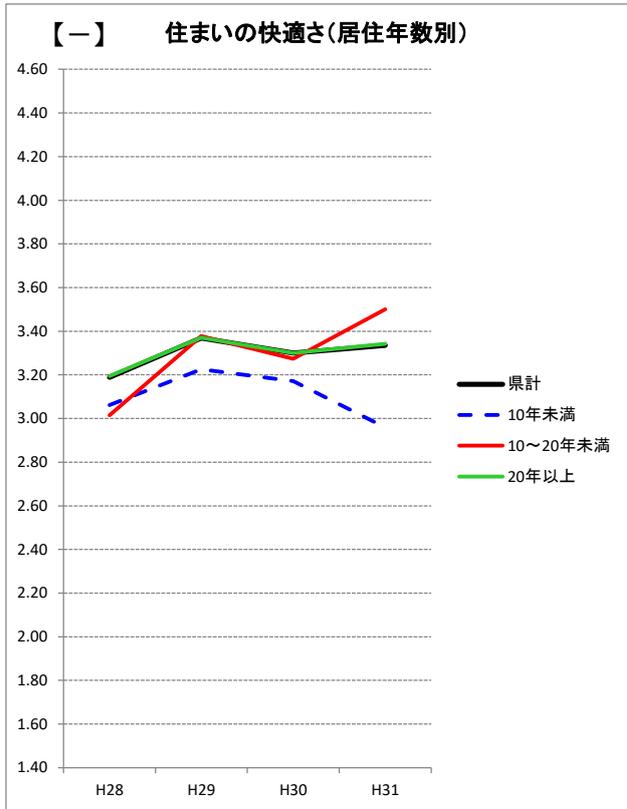
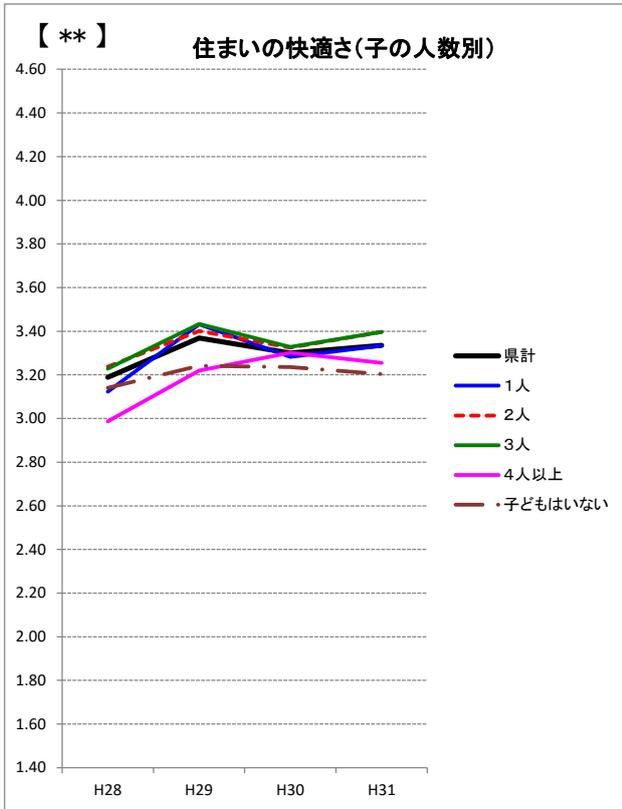


■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】⑥住まいに快適さを感じますか

・H31調査結果において、属性別に見ると年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別、広域圏別で有意な差が認められた。
 年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、学生等が高く、臨時雇用者が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、ひとり暮らしが低かった。子の人数別では、子3人が高く、子0人が低かった。広域圏別では、県央が高く、県北が低かった。
 ・長期的には、H28～H31にかけて上昇しており、短期的(H30からH31)には横ばいである。





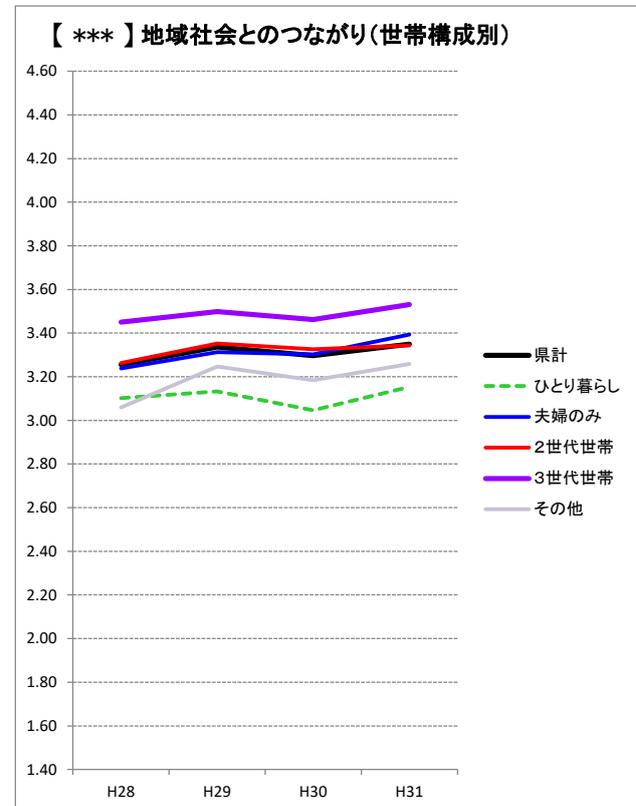
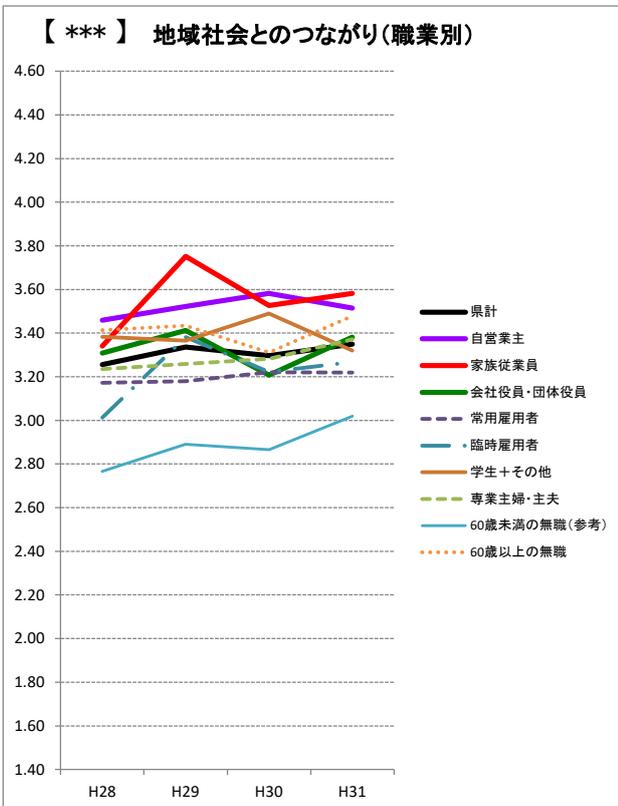
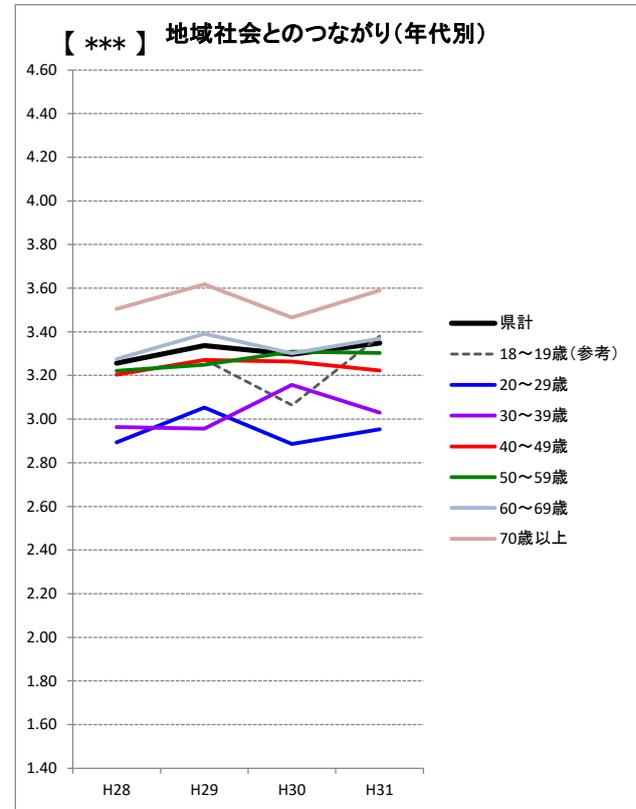
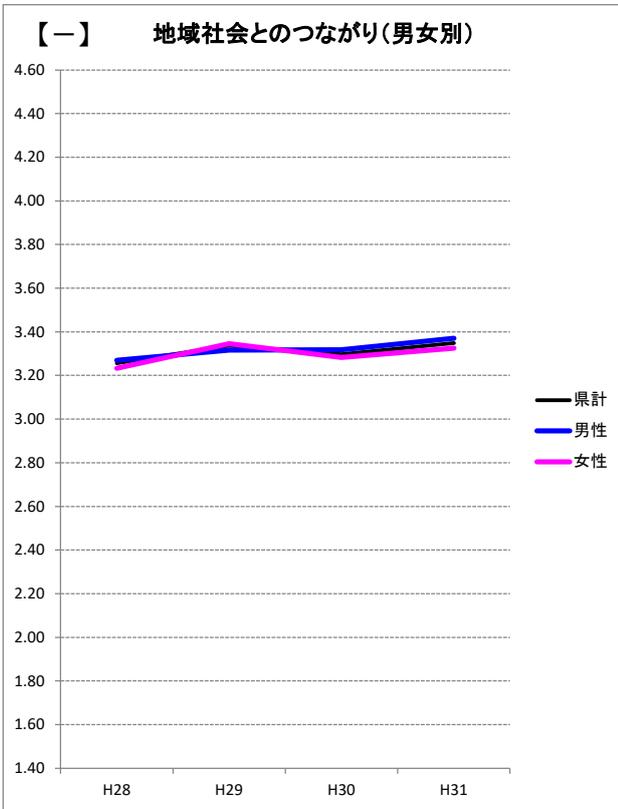
■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】差が認められない

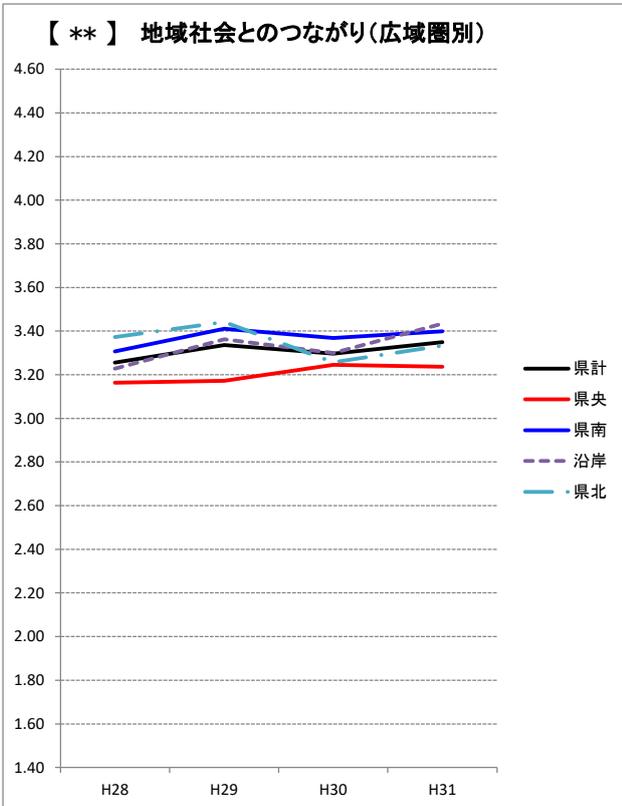
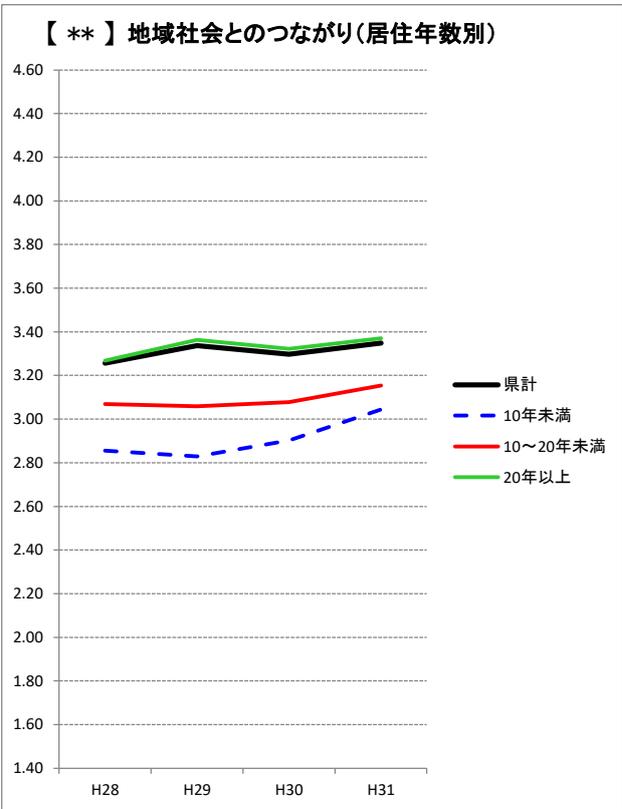
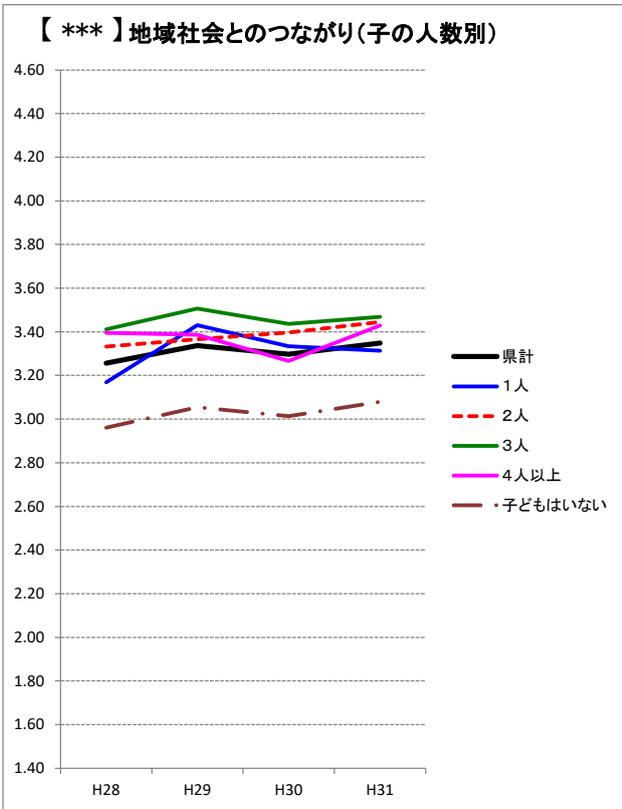
【県計】【分野別実感】⑦地域社会とのつながりを感じますか。

・H31調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別、居住年数別、広域圏別で有意な差が認められた。

年代別では、70歳以上が高く、20歳代が低かった。職業別では、家族従業員が高く、常用雇用者が低かった。世帯構成別では、3世代世帯が高く、ひとり暮らしが低かった。子の人数別では、子3人が高く、子0人が低かった。居住年数別では、20年以上が高く、10年未満が低かった。広域圏別では、沿岸が高く、県央が低かった。

・長期的には、H28～H31にかけて上昇しており、短期的(H30からH31)には、横ばいである。

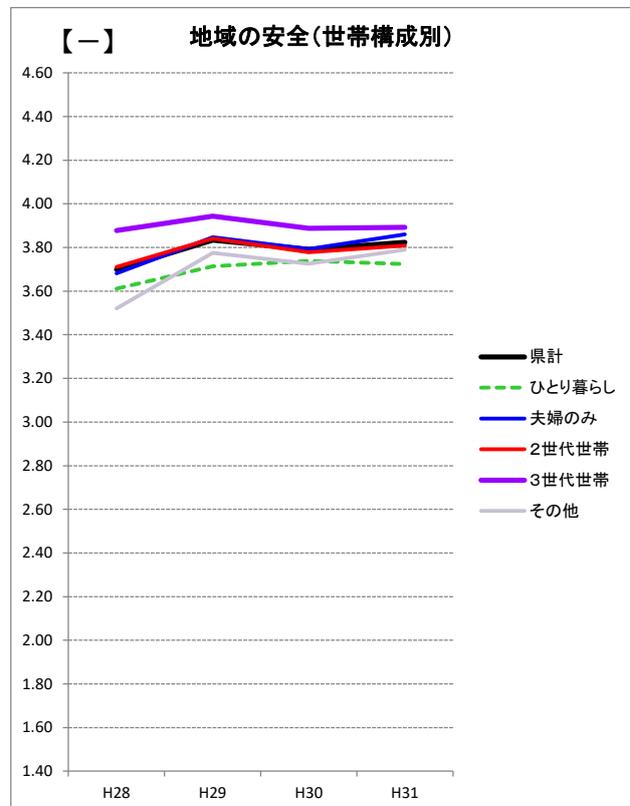
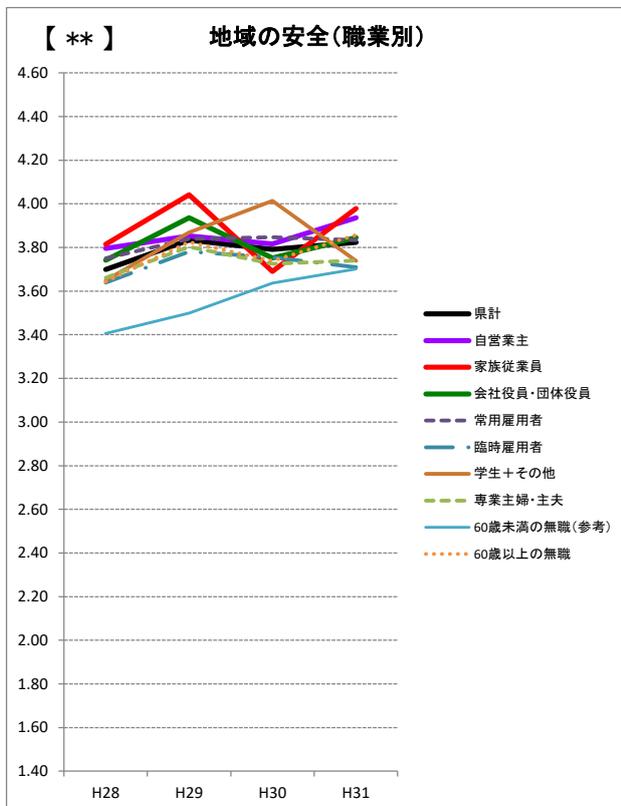
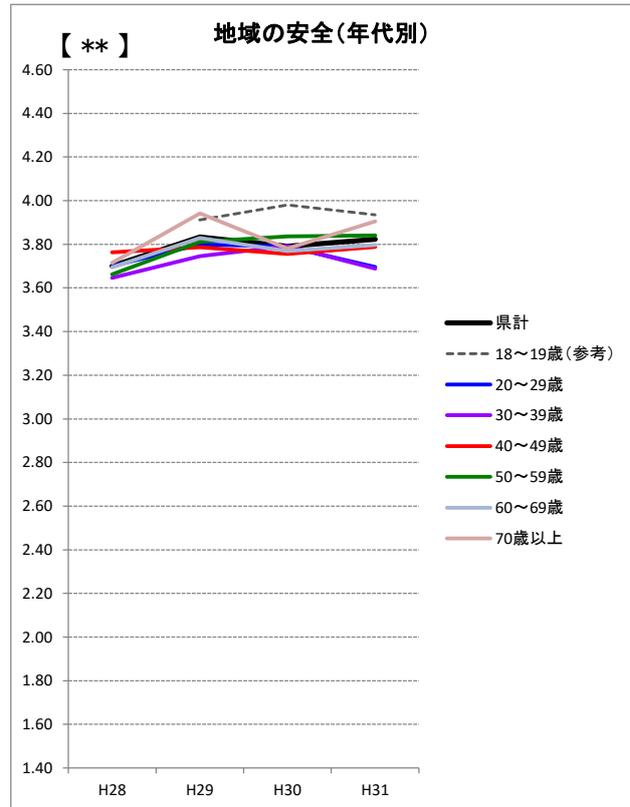
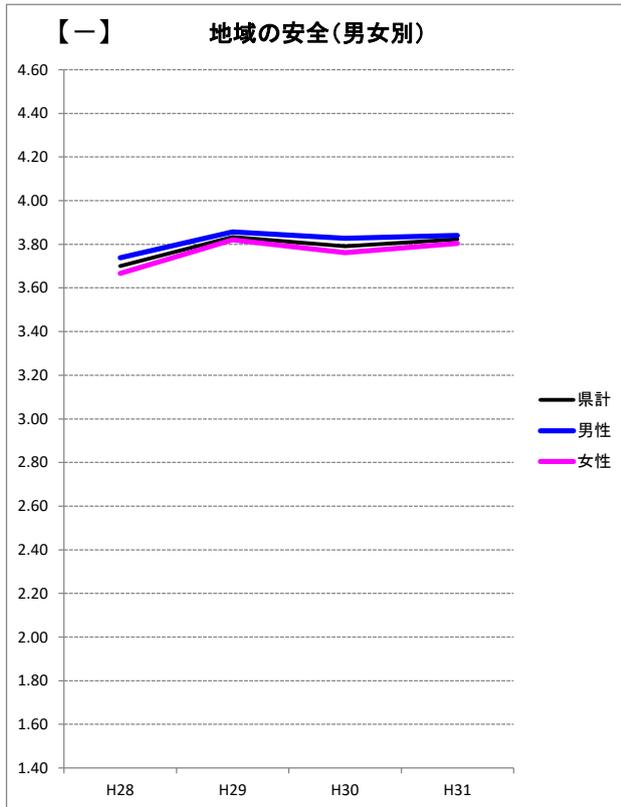


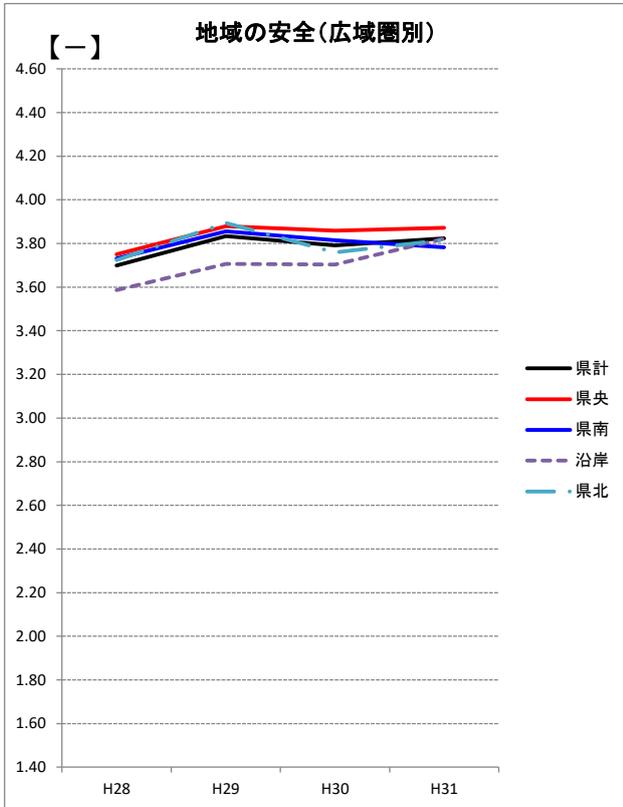
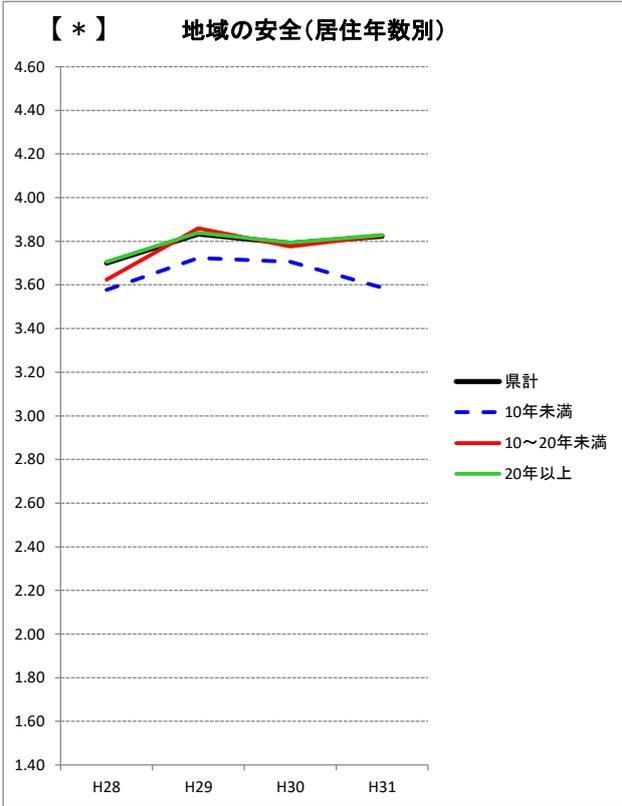
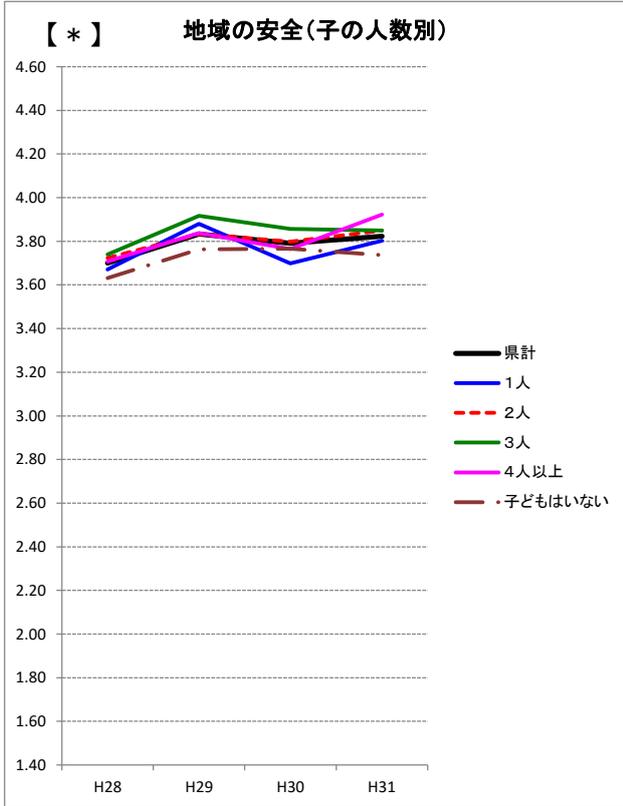


■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】⑧お住まいの地域は安全だと感じますか。

- ・H31調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別で有意な差が認められた。
- ・年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、家族従業員が高く、臨時雇用者が低かった。
- ・長期的には、H28～H31にかけて上昇しているが、短期的(H30からH31)には横ばいである。

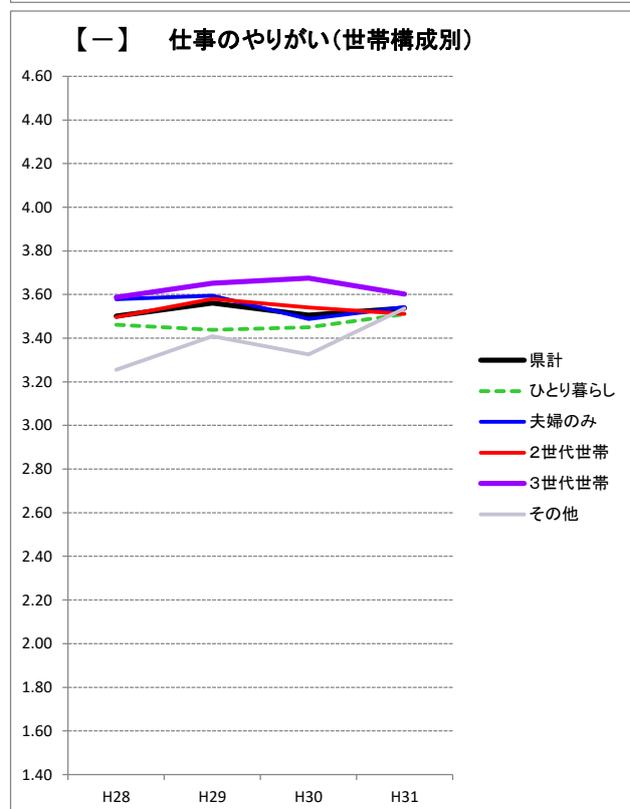
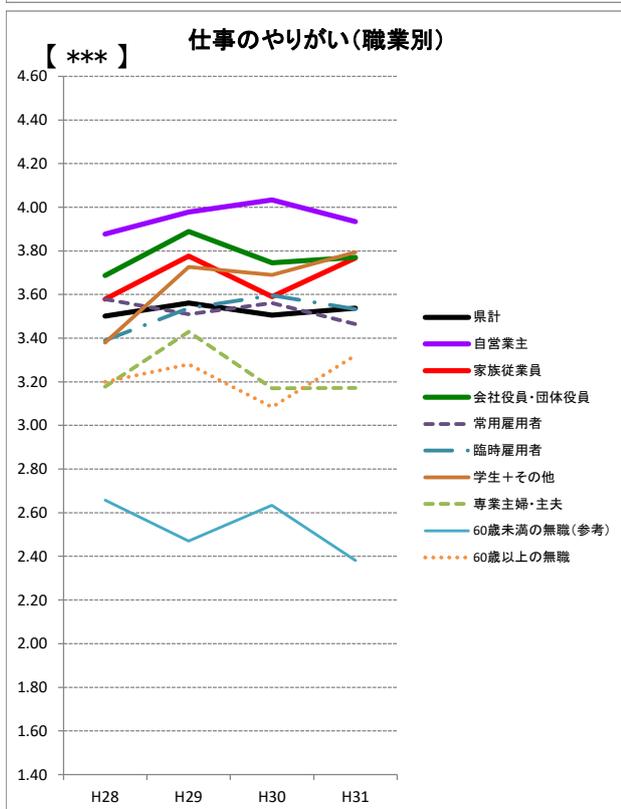
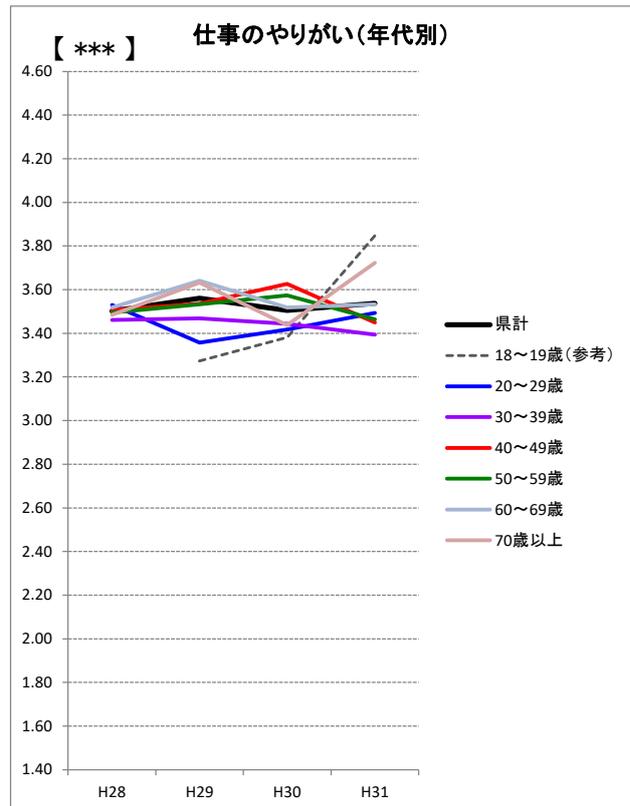
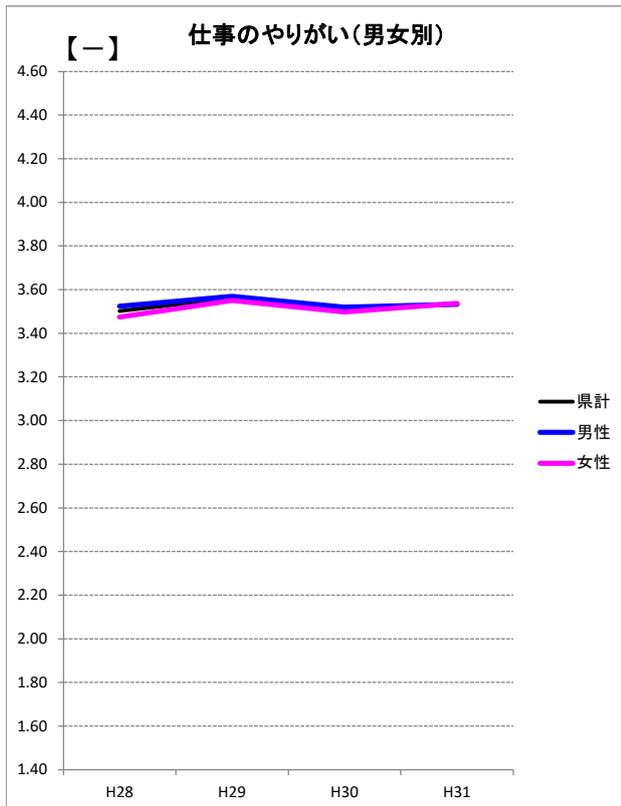


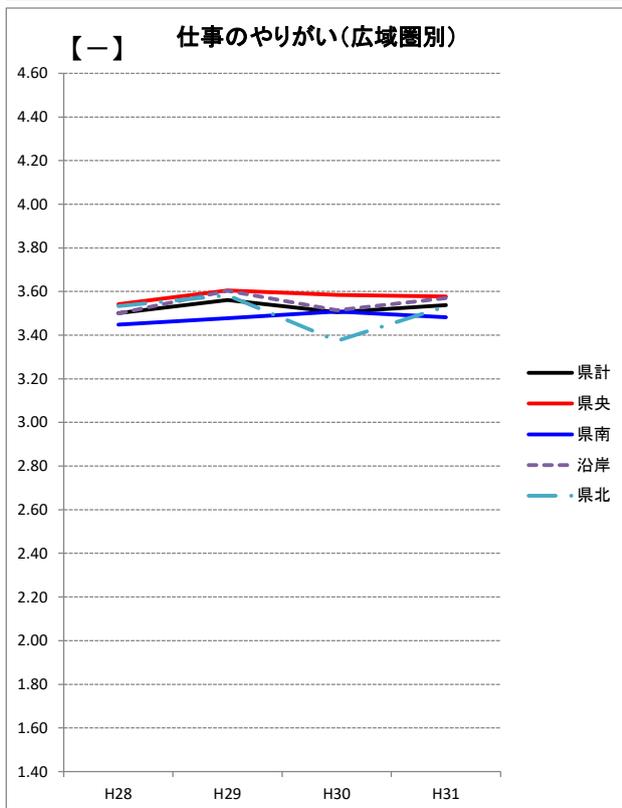
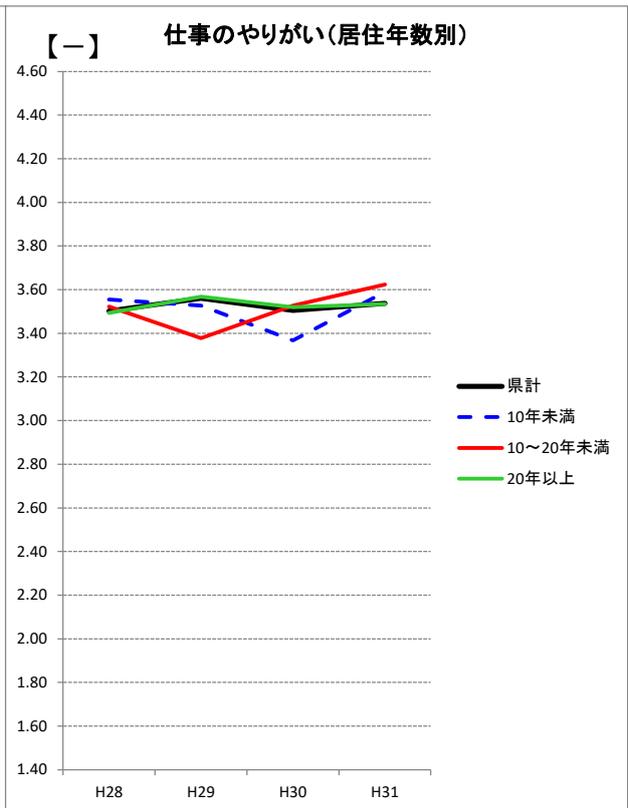
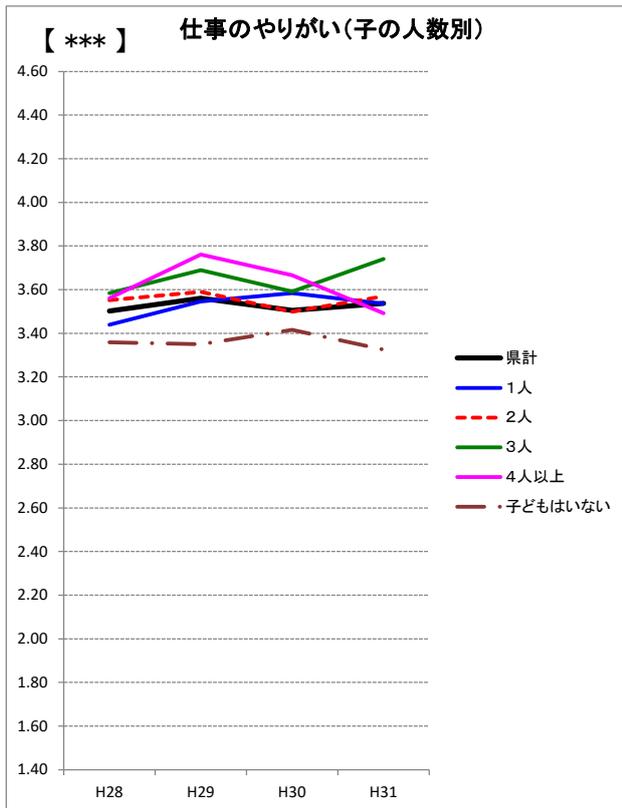


■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】⑨仕事にやりがいを感じますか。

・H31調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、子の人数別で有意な差が認められた。
 年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、自営業種が高く、専業主婦(主夫)が低かった。子の人数別では、子3人が高く、子0人が低かった。
 ・長期的には、H28～H31にかけて横ばいである。

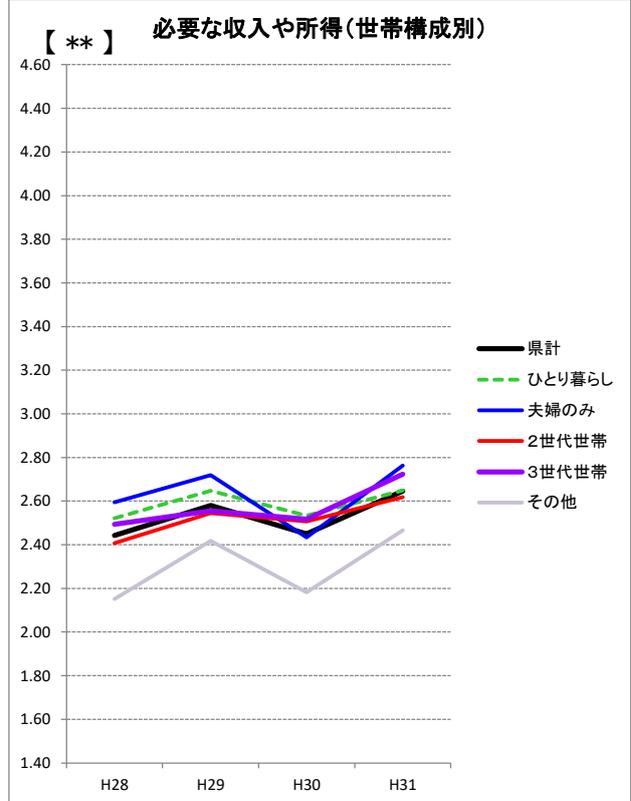
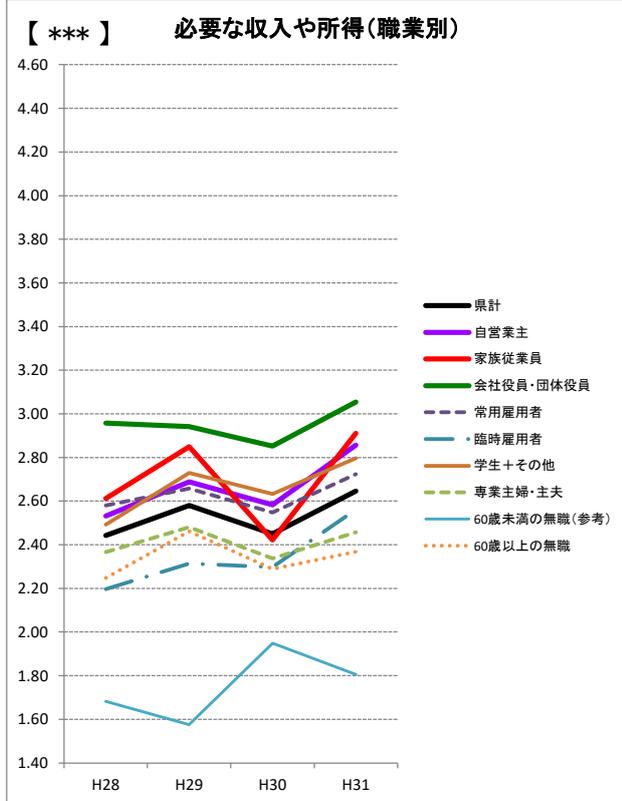
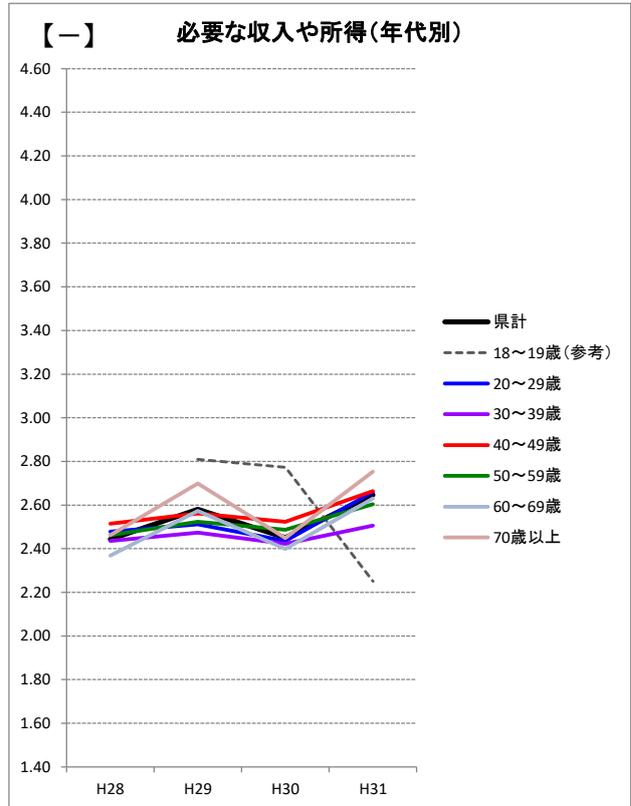
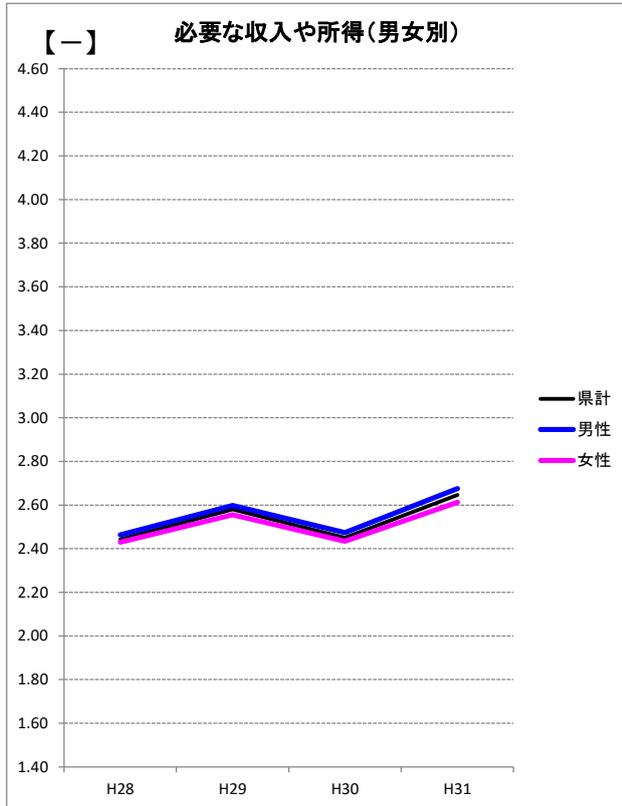


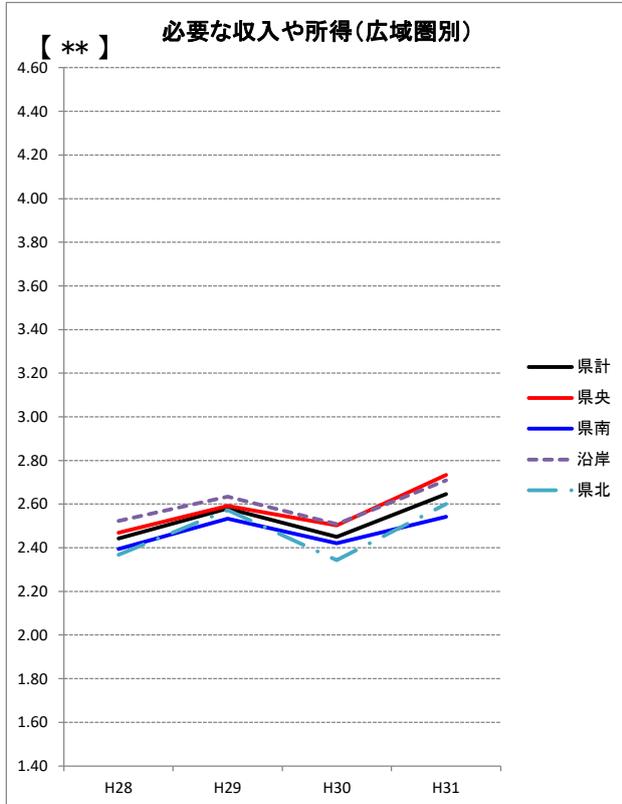
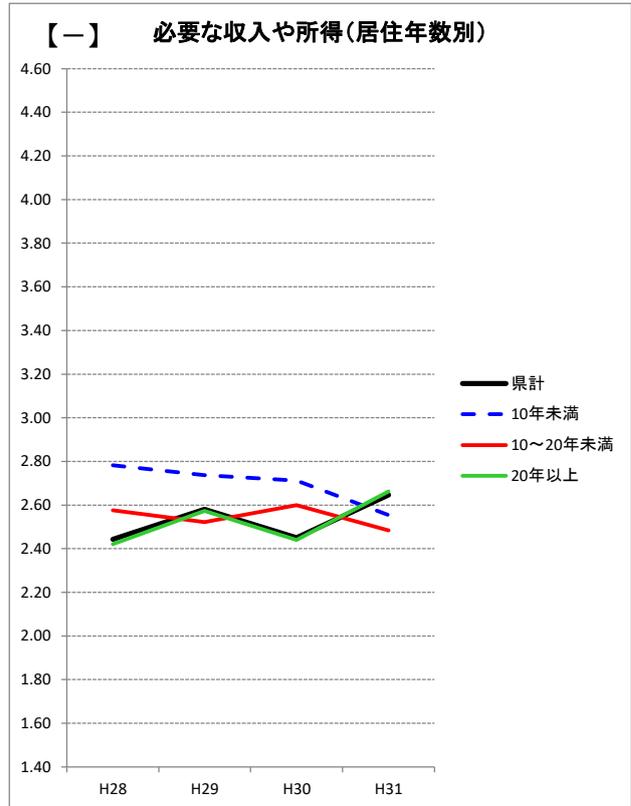
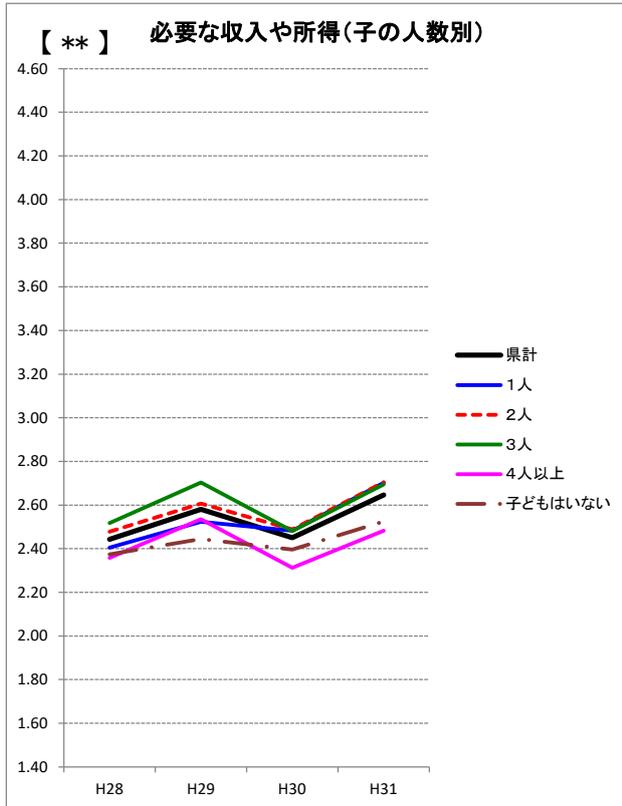


■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか。

・H31調査結果において、属性別に見ると、職業別、世帯構成別、子の人数別、広域圏別で有意な差が認められた。
 職業別では、役員が高く、無職が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子2人が高く、子4人以上が低かった。広域圏別では、県央が高く、県南が低かった。
 ・長期的には、H28～H31にかけて上昇している。

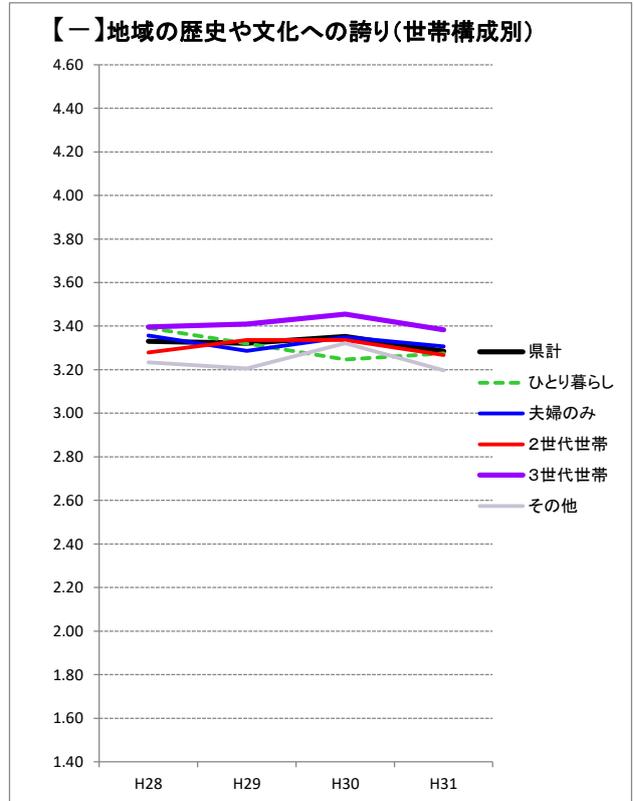
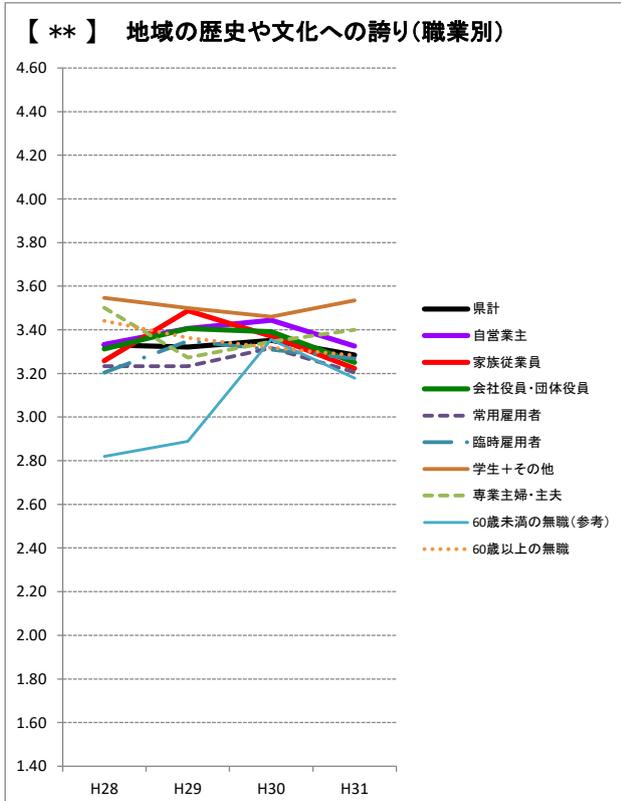
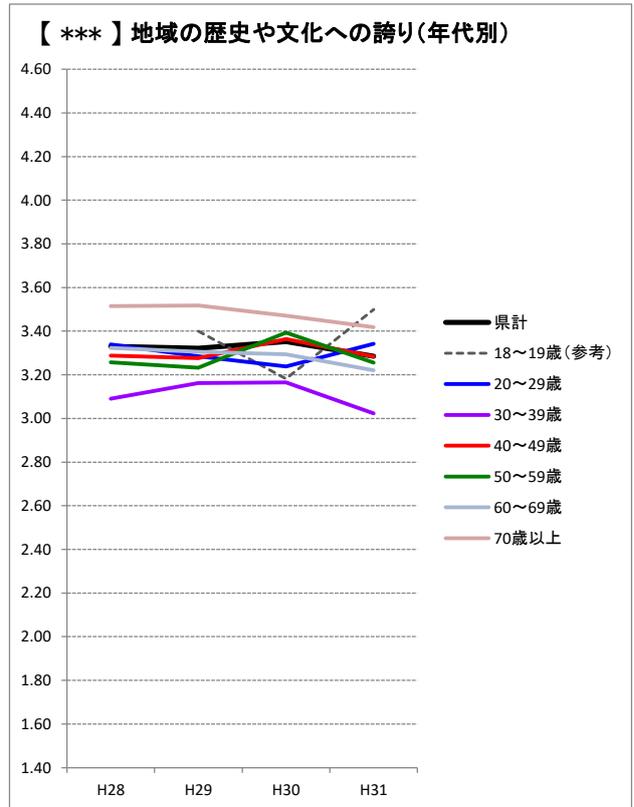
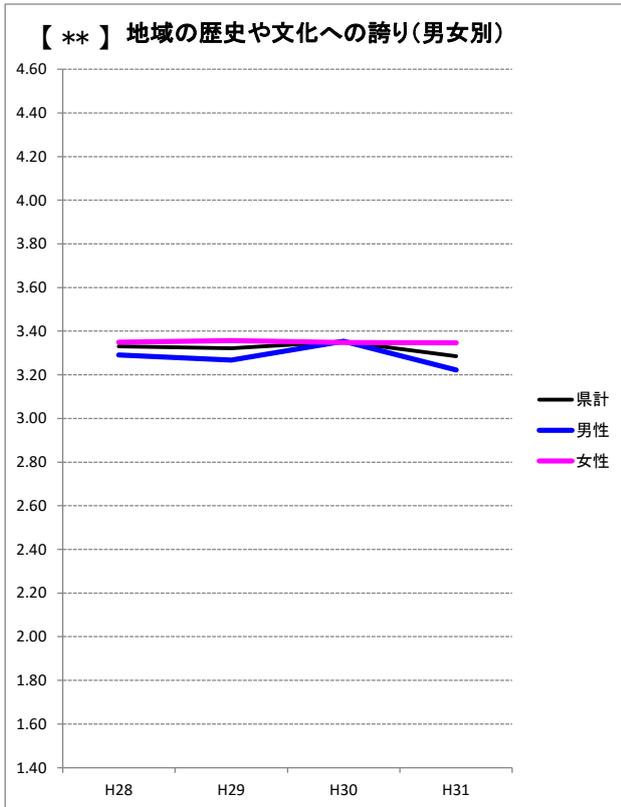




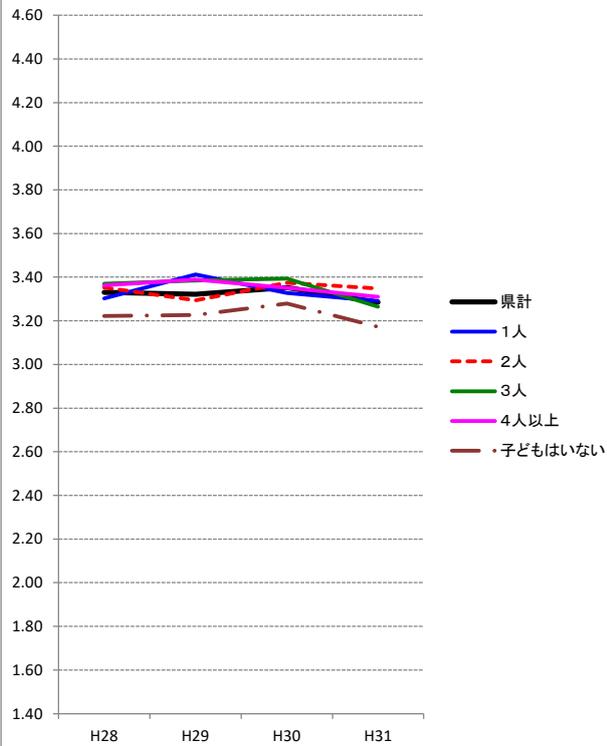
■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか。

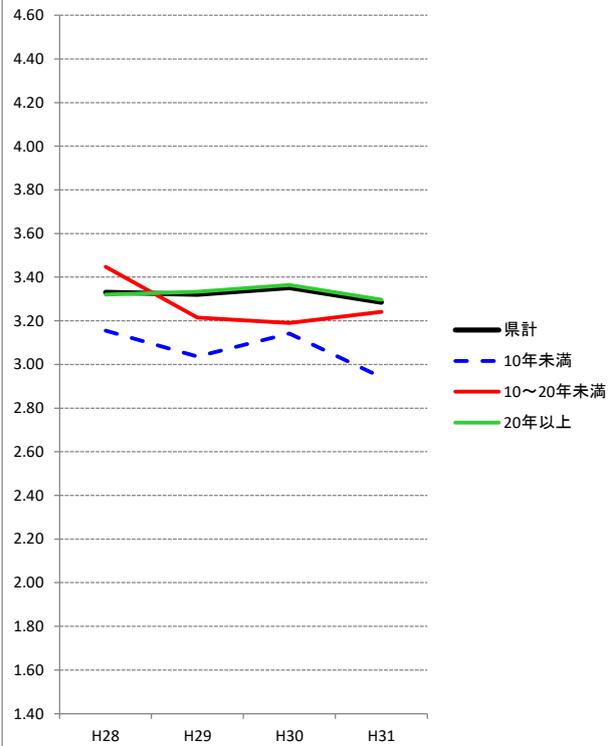
- ・H31調査結果において、属性別に見ると、男女別、年代別、職業別、子の人数別、居住年数別で有意な差が認められた。
- 男女別では、女性が高く、男性が低かった。年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、学生等が高く、常用雇用者が低かった。子の人数別では、子2人が高く、子0人が低かった。居住年数別では、20年以上が高く、10年未満が低かった。
- ・長期的には、H28～H31にかけて横ばいであり、短期的(H30からH31)には低下している。



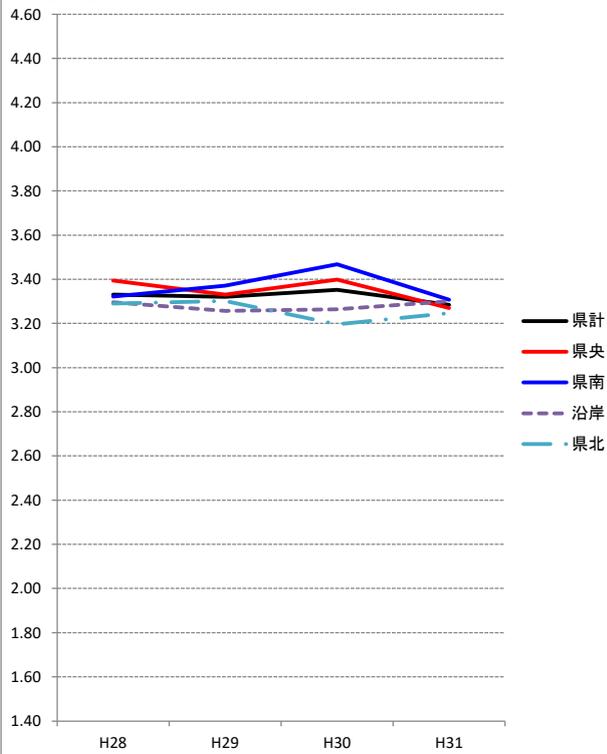
【**】地域の歴史や文化への誇り(子の人数別)



【**】地域の歴史や文化への誇り(居住年数別)



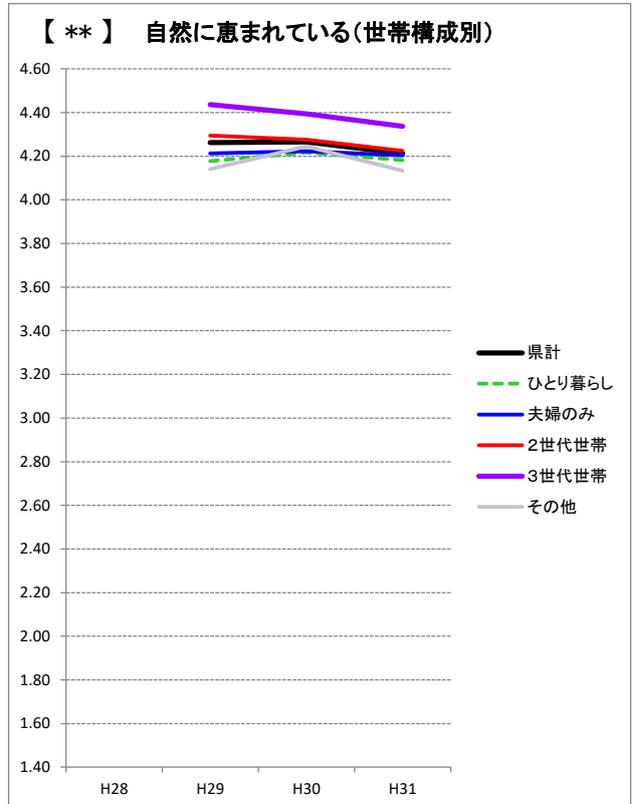
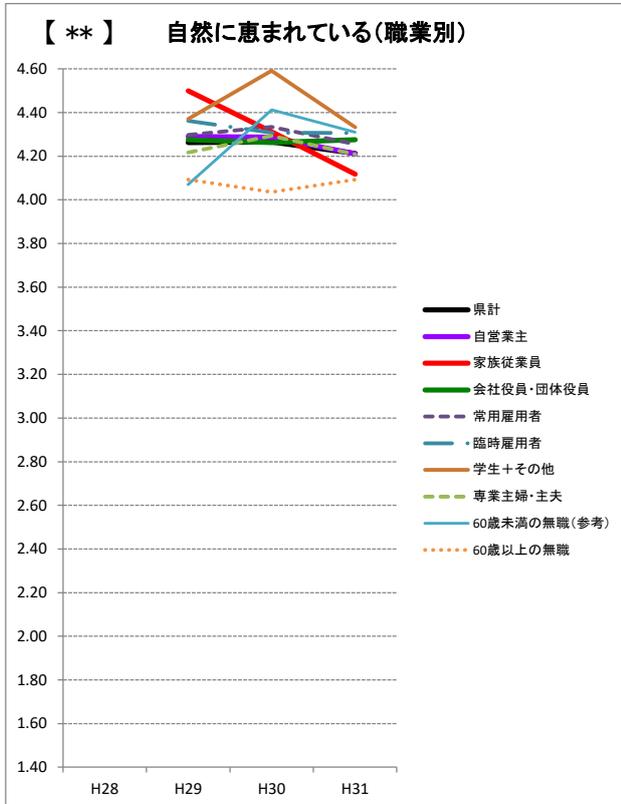
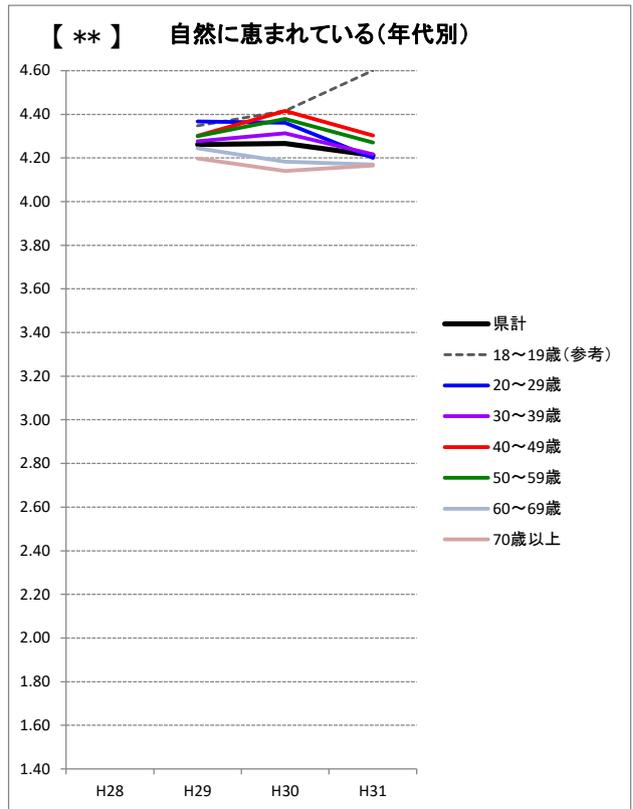
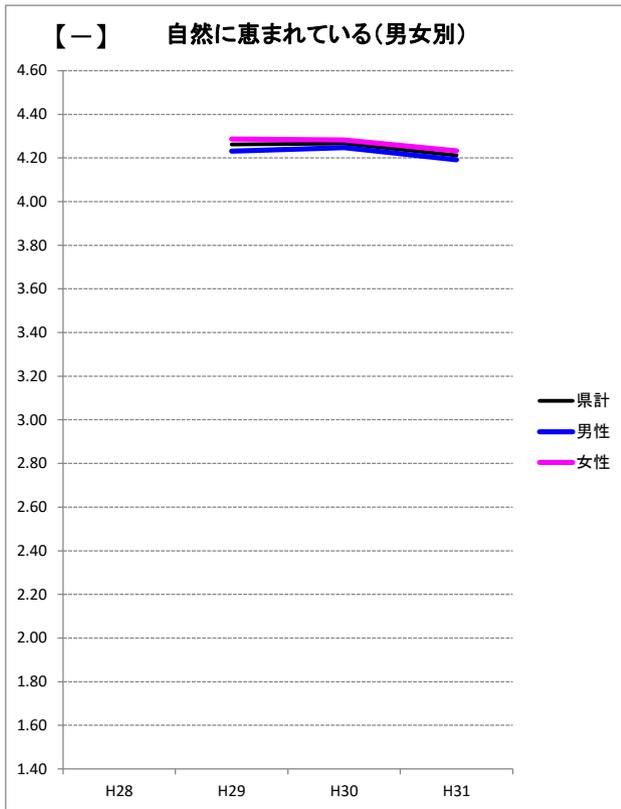
【-】地域の歴史や文化への誇り(広域圏別)

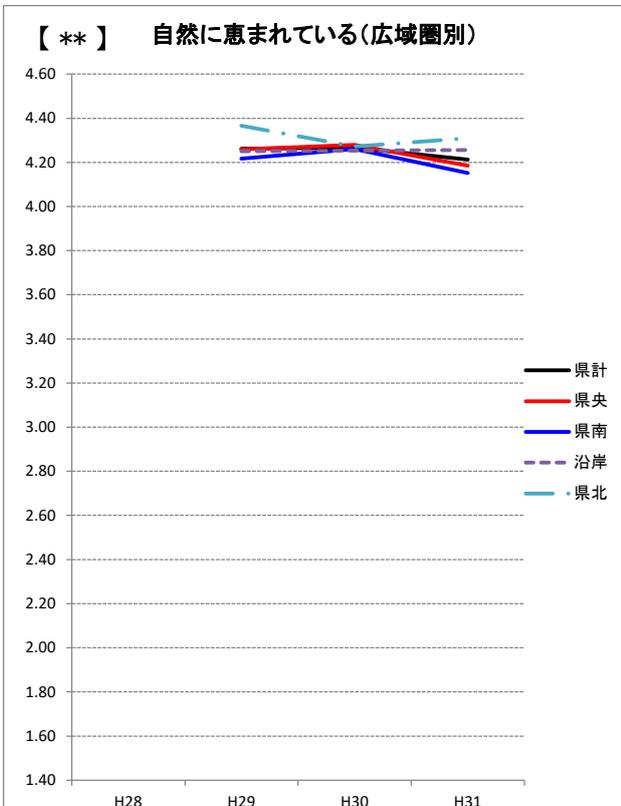
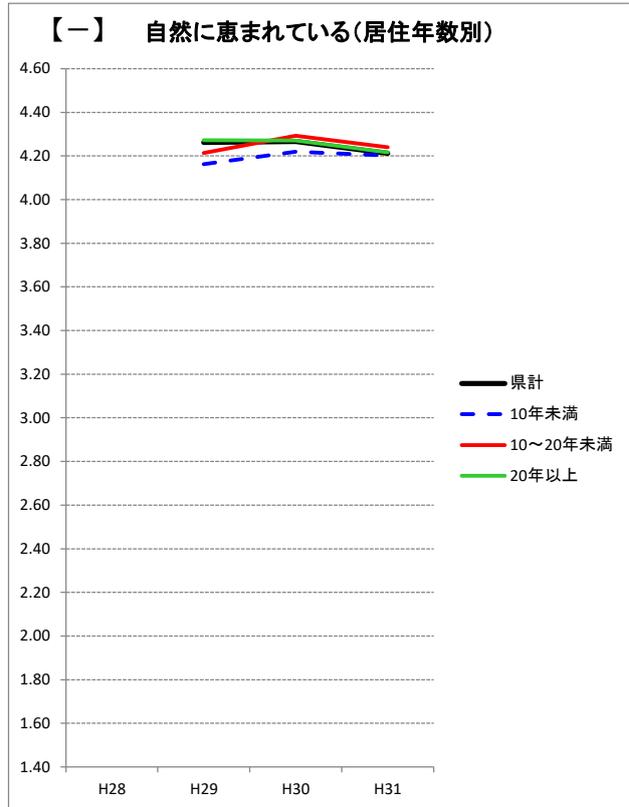
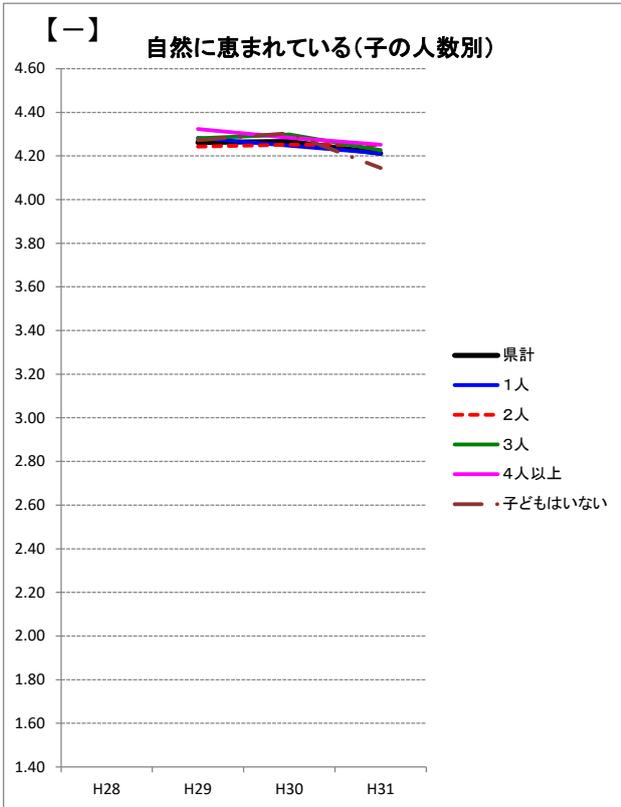


■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】 10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】 差が認められない

【県計】【分野別実感】⑫自然に恵まれていると感じますか。

・H31調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、広域圏別で有意な差が認められた。
 年代別では、40歳代が高く、60歳代、70歳以上が低かった。職業別では、学生等が高く、60歳以上の無職が低かった。世帯構成別では、3世代世帯が高く、その他が低かった。広域圏別では、県北が高く、県南が低かった。
 ・長期的には、H29～H31にかけて横ばいであり、短期的(H30からH31)には低下している。





■凡例■
 グラフ左上の*は、H31調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】 10%水準で差が有意(差が認められない)
 【-】 差が認められない

県民意識調査の時系列変化【県計】

標本数

広域圏

調査年	H28	H29	H30	H31
県計	3,576	3,422	3,260	3,327
県央広域振興圏	1,014	976	905	938
県南広域振興圏	1,065	1,039	983	1,014
沿岸広域振興圏	890	821	788	800
県北広域振興圏	607	586	584	575

男女

調査年	H28	H29	H30	H31
県計	3,576	3,422	3,260	3,327
男	1,480	1,450	1,389	1,611
女	1,929	1,907	1,832	1,693

年代

調査年	H28	H29	H30	H31
県計	3,576	3,422	3,260	3,327
18～19歳		47	49	38
20～29歳	209	203	189	166
30～39歳	372	330	293	293
40～49歳	497	506	454	429
50～59歳	617	617	521	553
60～69歳	811	838	733	752
70歳以上	904	822	841	986

職業

調査年	H28	H29	H30	H31
県計	3,576	3,422	3,260	3,327
自営業主	295	276	249	309
家族従業員	147	149	115	95
会社役員・団体役員	198	190	185	207
常用雇用者	938	965	917	885
臨時雇用者	403	421	346	390
学生＋その他	149	184	153	171
専業主婦(主夫)	435	449	373	340
60歳未満の無職	91	61	57	62
60歳以上の無職	723	647	661	716

世帯構成

調査年	H28	H29	H30	H31
県計	3,576	3,422	3,260	3,327
ひとり暮らし	373	337	353	402
夫婦のみ	760	765	702	757
2世代世帯	1,174	1,278	1,125	1,143
3世代世帯	570	502	478	461
その他	450	452	375	410

子の数

調査年	H28	H29	H30	H31
県計	3,576	3,422	3,260	3,327
1人	460	444	381	428
2人	1,297	1,251	1,158	1,232
3人	673	711	615	637
4人以上(※)	179	182	134	160
子どもはいない	747	743	745	710

居住年数

調査年	H28	H29	H30	H31
県計	3,576	3,422	3,260	3,327
10年未満	104	118	107	101
10～20年未満	138	151	149	125
20年以上	3,142	3,063	2,799	2,961